第三千八百十四號 (一)　(明治三十九年九月八日第三種郵便物認可)　THE KEIJO NIPPO　大正七年六月五日　(年中無休刊)

京城日報

六月四日夕刊
(朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 壹ヶ月七拾五錢 [illegible]
廣告料金 七字詰一行 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible] 印刷人 小川三之介 [illegible]

表 [illegible]
十一月一日現行

◎兩軍戰線益々展開

獨逸皇太子殿下の軍は多數の新鋭兵を得佛軍豫備隊も亦續々到著しつゝありノアイヨン、シャトー、ティエリ戰線に於て近く兩軍の大展開を見る可し(倫敦電報)

◎敵ヴェルヌーユ前進

敵の前進隊はマルスの北岸に於てシャトウチエリの東端及び北端よりヴェルヌーユ迄前進せり(倫敦電報)

◎芬蘭露國艦船沒收

芬蘭政府は自國內にある露國艦隊商船一切を沒收するに決定せりと(哈爾賓電報)

◎セ軍麾下支兵掠奪

セミヨノフ軍は其麾下に屬せる支那軍隊が露人の家に入りて掠奪を爲せるために甚だしく怨嗟を受け同軍の行動に不利を來さんとするものゝ如し(哈爾賓電報)

◎沿黑龍江省 無職業者增加

物價騰貴事業縮少の爲め沿黑龍江省地方に於ける無職業者の數漸次多きを加へつゝあり殊にブラゴエチエンスクの一萬八千名、ニコライウスク市の五千名、ハバロフスク市の一萬五千名浦鹽斯德の千名は其の最も多き地方なり(哈爾賓特電)

◎湖南十日間停戰

段總理は一日馮總統に謁見商議の結果湖南に於て十日間の停戰を命ずる事と爲り命令近く發布さる可し(北京特電)

◎支那時局談片

南北紛爭終熄、記者團渡日の効果
赴哈の途に在る 齋藤少將語る

北京公使館附武官齋藤少將は三日午後五時長春に來り四日朝哈爾賓に向ひたるが其の際往訪の記者に語つて曰く『赴哈の目的は明言するを得ざるも近時過激派には多數の獨墺俘虜混じ形勢甚だ穩かならずセミヨノフ軍の活動も亦必要なるも要するに日支兩國は對岸の火災視するの秋に非ず故に予は夫等の狀態を精細に視察せんとす日支軍事協約に就ては種々噂され居れるも齒牙にかくるに足らず各國間には斯かる協約は世人不知の間に常に進行し居れるが例なるに支那政府に於て少しく漏洩したるがため問題となり遂には種々の揑造說さへ流布さるゝに至りしが共同の敵に對抗する方策を講ずるに敢て何等の不思議なく各國共頗る滿足し殊に佛紙の如き非常の讚辭を呈し居るに見ても明かなり要は協商國の爲敵を擊破するにあり一部學生の妄動せるは協約其物に就ての根本的に非ず而も彼等の多くは何れも墮落せるものか學力劣等のものゝみなり、されど支那政府は速かに歸還せざれば官費留學を取消すと言明せるより彼等は漸次歸還しつゝあり支那新聞は一時彼れ是れと誤報せるも內容を了解したる今日に於ては頗る平靜なり之支那記者團渡日の効果に依るものならん。南北支那の爭鬪は妥協と言はんよりも寧ろ南軍の敗に歸し同問題は不日落著すべし南方派の首領株たる孫逸仙氏は近く日本に向はんとし陸榮廷氏の如きも何れかに徂かんとするものゝ如し斯くの如くにして南北の紛爭は漸次終熄し將來は樂觀して可ならん今回の日支協約に特に滿洲の督軍等參列したる所以のものは目下西的利方面との關係頗る深きより列席せるものにて各督軍は非常に贊成の意を表し居れり今回北軍の勢力挽回せるは張作霖氏の力なりと稱するも過言に非ず故に現時の支那に於ける張作霖氏の勢力は頗る强大となれり吉會鐵道の必要は今日にては日支間の實際問題となり居れば起工も近く實現すべし該問題は余が關東に在りし當時よりの既定問題なり阪谷男の支那財政顧問說は早晩事實となりて現はるべし林公使の歸朝說は全然虛僞なり床次氏の如きは北京にて公使の宅に宿泊し居たれば世間に傳へられ居るが如きことなきを確信す支那上下が帝國を理解し來りしは顯著なる事實として欣快に堪へず』(長春特電)

◎陸軍要部異動

安東臺灣總督は來る八月を以て停年に達す可く其後任には青島守備軍司令官本鄉中將に同中將の後任には明石第六師團長轉任す可しとの說あり(東京電報)

◎外米在荷と未著數量

農商務省發表に據れば指定商をして買入れしめたる外國米の保稅倉庫在荷及び既約未著品は約百十八萬石にて右の中五月二十日より三十一日迄に賣出し受渡しを爲したる總數約三十七萬石三十一日現在の在庫品總計約二十四萬石にして既約未著品は全部六、七、八月中に著荷の豫定にて目下荷造り中のもの及び本月中に著荷す可き分約三十五萬石あり尙政府は右の外管理令發布と共に蘭貢及び西貢にて買付を開始し引續き手續中なるが既に新規買付を了したるもの約七十萬石にして大部分は七、八、九日中に著荷の豫定なり(東京特電)

◎東拓株公募

東拓新株中公募に附す可き六萬株は來る十三日より十七日迄を期日とし額面超過金最低十圓以上申込證據金一株に付三圓にて東西現物團引受賣出しに決定せりと(東京電報)

◎白井氏西伯利に向ふ

白井哲夫氏は三日西伯利に向ひ出發せるが氏は或る重要使命を帶べりとの說あり(東京特電)

◎齋藤少將去來

北京公使館附武官齋藤少將は小林副官を隨へ日支軍事協約に伴ふ北滿事情調査の爲め北京より三日來奉直に長春に向へるが二十日頃更に引返して大連方面に赴く豫定なり(奉天特電)

爲め四日朝六時半著列車にて來安一泊の上[illegible]

◎床次總務南下

床次政友會總務は豫定の通り四日朝六時半著列車にて來安領事其他同縣人多數の出迎を受け同七時十分南下せり(安東特電)

◎小原長官歸任期

小原農商工部長官は五日元山通過歸任の途に就く筈なり(元山特電)

◎梶塚經理部長

梶塚經理部長は安東守備隊經理事務視閱の務に就き出張する筈ありたり

◎定例長官會議

四日午前十時より總督府第一會議室に於て長谷川總督以下各部長官、局長等出席一般政務に就き協議する處ありたり

◎典獄會議(第二日)

典獄會議二日は四日午前九時より總督府第二會議室に於て開會午前中は諮問事項あり午後より協議事項に移り同四時散會せり

◎綿布業者の脫線

鐵商店の非違を遂げし眞因

京城綿布商鐵支店の不始末のため折角順調に進みつゝある京城財界の一部に突として△不安の狀を現はしたのは遺憾の至りである聞くが如く鐵商店は大阪の定期で損を爲しその損金を京城の綿布商十數店より上手に借り出して送金したのであるらしい果して如斯なればけれど京城に於ける斯業用の資金は減ずる勘定である資金の運用上如斯事は必らずしも珍とするに足るまいが今回の事件は甚しき逆と云はねばならぬコレは京城斯業界の違算であり鐵商店の出方は甚だ不德義な行爲と信ずる一體朝鮮に於ける綿絲布業は△大阪の資本を利用し運轉活動以て斯業の發達を圖るのが順當である然るに今回の鐵の行爲はその反對に朝鮮の資金を大阪に持つて行つたのであつてその結果は朝鮮の發達を妨ぐる行爲となる。仍て綿布商は一般は少なからぬ苦痛となつた乃で今回鐵果のために五十萬圓近い資金を大阪に一時にぬきとられた京城の當業者は大いに覺醒を要する事と思ふ、又銀行家は此の四十七萬圓が如何に被害に十數店によつて運用され而して地方の金融を助け取引の圓滑を司どりつゝありしかを考へねばなるまい苦痛は決して斯業家十數店のみに留まらぬ種々の方面に△不自由を感じ 隨つて金融の圓滑を缺ぐ事が生ずるであらう願はくば銀行家は今回の事件に向つて大なる同情を以て斯業者の勇氣を補佐して欲しい又鐵のために厄に罹られた綿布業者は一兩甚だ正直である然し反面に於て大膽に過ぎてゐる、乃ち朝鮮綿布の需要數を背ゆる事よりも種々△買に以て趣味を有しその天賦たる市場の需要に應じ商品の供給をなす事を閑却して利益を得る事に傾き過ぎた、賣り又買ひ知らず〳〵の間にその金高は多大の額に上つたのであるらしい、實に△算盤專門 の商家には不似合の樣に思ふのである山東綿布業者は金高を多額に扱ふ割合にその收利は多くない故に平素の綿布業家の態度は至つて眞面目でおらねばならぬ斯くあつてこそ信用が他の商業よりも厚いわけである然るに今回鐵の行爲を遂げしめし京城綿布業者は本線を脫しつゝあつて他の線路を進行しつゝあつたのではあるまいかそれを利用したのである、今回の事件をキッカケに今後當業者は堅實の方針を立てゝ進まれん事を望んで止まぬ次第である(某綿布商店支配人の談)

◎銀行券復膨脹

五月二十六日より六月一日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は五千九百四十八萬二千圓にして週末の千圓に上り前週末に比し約二百餘萬圓の膨脹を來したるがコハ國庫の撫出しの目立ちたる增加ありしものにて他に特種の理由あるに非ず軋轢出廻期漸く切迫に付當分六千萬圓臺を維持するやも計られずといふ

◎小額券到著

政府發行小額券二十萬圓は二日日本銀行より朝鮮銀行に到著せり

◎中央市場條規案(十)

京城商業會議所研究案

第二十九條 仲買人は市場以外に於て仲買行爲を爲すを得ず

仲買人が一旦本市場內に於て其の業を營む以上は市場に不利益を來すが如き行爲は勿論之れを容認するを得ず若し市場外に於て仲買をするあらば宜しく市場取引に上すべきなり然らずんば仲買人

△監督上不都合を生ずる のみならず間接に事務所の收入を減少せしむる虞れあるもの也尙ほ仲買人が問屋又は小賣を兼營するが如きは許すべからざる事にして事務所は彼等に同意を與ふる際充分に銓議すべき事なりとす

第四章 小賣場及小賣商人

第三十條 小賣場は販賣貨物の種類に從ひて區分す。前項の區分は事務所に於て之れを決定變更す

第三十一條 各賣店と規定の貸付料を納入したるものに之を貸付す但し事務所が必要と認めたる時は競爭入札法によることあるべし

第三十二條 前條の貸付を受けたる商人は其賣場權を事務所の同意なくして處分する事を得ず

稍や完備せる市場は必ず賣店を建築し之を△貨物の種類に從ひて區劃するものとす而して其の實際如何は當局者たる事務所に委任するの外なけん之等賣店の貸付方法は或る貸付の期間を定め期間滿つる毎に競爭入札によるを最も可とすべし然れども豫め一定率の料金を定め善良なる商人に貸付け若し希望者多數にして競爭入札によらざるべからざる場合に之を行ふ事に立案せり此の賣場の使用權は料金の納付を條件として事務所が特定の人に貸付けたるものなるが故に他人に其權利を讓承せしむべからず只事務所が之に同意したる場合に限るは穩當なる所置なりと信ず

第三十三條 廣場は賣店を有せざる小商人又は生產者の販賣の爲めに使用す

第三十四條 廣場は規定の貸付料を納入したる者に限り之を使用せしむ

公設市場に於ける販賣の場所は賣店のみに限らず△賣店自身にも 適當の方法を講じて生產者又は其他の小商人と需要者と接觸する機會を作らざるべからず此の目的に供する爲に屋を稱して此所に廣場と稱す廣場は卸市場及び小賣店と幾分競爭の立場に在りて彼等の暴利を牽制する効あると共に產者及び需要者を利すること勘からずして而かも市場收入の好財源たるものなり

◎三驛倉庫開業

六月三日より滿鐵京管線開城南郭山南市の四驛に於て倉庫營業の營業を開始する事に決定せるが當分の間野積寄託の外取扱はざる由なり

◎公會堂成行

京城商業會議所にては公會堂建設に關し四日午後金谷京城府尹、府協議員、京城學校組合議員、及び府元老等會同し同所事務所建設に伴ひ府公會堂を併設するの議に就いて一應の挨拶を爲せり因に同所新營に關する寄附金問題は銀行集會所の方面漸く落著を見たるのみにして尙ほ多數實業家其の他の中には公會堂新營に對する意見として時機尙早又は規模の縮少等を主張するものあり容易に據らず金鐵に於て本問題に段落を告げたりとは言ひ難しと觀測さるゝ嫌あり

◎極東の處分を自由に

支那政府顧問ファーガツソ氏談

支那政府顧問ファーガツソ氏は桑港に歸著せり氏は曰く『日支兩國をして現戰爭中必要に應じ極東に於ける領土を自由に處分する事を得せしめざる可らず』と猶氏は『米國政府及び國民は日支兩國を寬大且つ公平に遇せざる可らず』と述べたり(桑港電報)

◎獨墺條約內容

獨墺間に締結されたる新條約の內容は兩國軍隊は彼此武器の統一及び士官を交換する事、軍備は兩國參謀本部共同して行ふ事等を約せるものなり(倫敦電報)

◎岑春煊調停打電

岑春煊氏は馮總統に對し打電して曰く中央若し速に和するの意あらば予は廣東政府の政務總裁を辭職して調停の任に當る可しと(北京特電)

◎林野調查令及調查計畫概要(一)

總督府山林課長 田中卯三氏

朝鮮の林野は約一千六百餘萬町步の廣大なる面積を有し全土の約△七割三分を占む るが故に林政の荒廢は治水其の他各種產業に影響する所甚大なり然るに林政上第一に考慮すべき林野の國有の區分又は所有者占有者等の權利關係は古來甚だ曖昧混沌にして判明せず現狀の儘推移せんか如何に植樹造林を獎勵するも容易に其の目的を達すること能はざるなり故に速に林野の調查を遂げ其の權利關係を明確にし林政の基礎を確立する策を講ずるは國有財產の管理上將又林業の開發上一日も忽諸に附すべからざる緊急要事に屬すと雖も從來財政の都合上△林野の全般に 亙りて調查を行ふこと能はざるの事情あり田野等の間に介在する極めて小面積の林野に付土地調查令に依りて調查したるものあるの外明治四十四年以來何人の占有にも屬せざる國有林野の區域を調查し之を要存豫定林野(國土保安又は國有林經營上必要なる林野)と第一種不要存林野(一般人民に貸付等の處分を爲し)とに區分し前者に就ては相當保護の方法を講じて荒廢を防止し後者に就ては適當なる企業者に貸付等の處分を爲し造林を促進し調査の豫定總面積約八百二十萬町步の內大正六年十二月迄に查了せるもの三百十三萬二千八百六十四餘町步に達し大正十一年度迄に豫定事業を△完了する見込 なり區分調査は私人に何等の關係なく全く國有に屬すと認めらるゝ林野に付要存不要存の區分を爲すに過ぎざるを以て稀に調查地に對し私有を主張する者あるときは裁判所の判決を俟たざる可からざるの不便あり若し夫れ百尺竿頭一步を進めて此の調查に權利關係をも確定し得るの効果を與ふるときは其の利便蓋し尠少に非ざるなり區分調査を施行せざる第二種不要存林野即ち緣故者ある國有林野及び部落の爲に特に保留せる國有林野及び私有林野約七百八十萬町步の權利關係は依然として混沌たるを免れず若も緣故者ある國有林野に付森林令に依り△讓與又は貸付 等の出願あるときは其の都度職員を派して調查せしめて處分せしめつゝありと雖も其の件數は後に述ぶるが如く甚多數に上り到底現今の職員をして遺憾なく處理せしむること能はざるの狀態なり今朝鮮林野調查令及林野調査の計畫の概要を示せば次の如し

□北海道まで

下關 和田天民

汽車下關を出でんとす、眼を閉づれば北海道は朦朧として夢にあり、夢中の北海道は果して現實の北海道と相等しき乎、初物の當然は此の刹那の憧憬に有之候 早々
青嵐三千里我が夢淸し

◎貨車五輛竣成

滿鐵京管局草梁分工場に於て新造貨車六十輛製作中の處五輛五月三十一日竣成し累計二十輛となれり

◎岡田博士北行

入京中の醫學博士岡田和一郎氏は夫人同伴五日午前九時五十分南大門驛發北行開城平壤新義州三地の視察に向ひ九日更に入京一泊の上南下慶州方面を見學し歸東すべし

◎深見參謀入京

青島守備軍參謀陸軍步兵中佐深見新之助氏は參謀本部主催の戰史旅行の爲め三日入京大觀亭に入りたるが六日出發北行す可し

◎教育視察團入京

山口縣吉敷郡教育視察團及び大阪市の教育視察團は孰れも四日朝入京し前者は巴城館後者は浦尾旅館に入る

谷城小學校設置認可 全南谷城郡谷城面邑內里谷城學校組合管理者大崎常信氏より申請中なりし谷城、[illegible]宗小學校設置の件は三日附を以て認可せられたり

人事消息

▲[illegible]慈惠醫院長四日朝出京▲[illegible]醫院長同上▲[illegible]▲[illegible]四日[illegible]

◎九州見物(三十七)

[illegible]

◎風光の快潤 なる九州も別府灣留中電車に搭じて大分へと出掛く、電車は[illegible]の灣を沿うて大分まで入り灣內の風光は[illegible]たる中に幾多の島嶼を[illegible]海岸中第一なりと、[illegible]陸岸近く島嶼多く、村落の[illegible]二百十年前一大地震起り、別府[illegible]の一部も、島嶼の大半も一夜に陷沒し、夥多の人命水中に[illegible]れたり、佛崎には此等遭難者の冥福を祈るために岩に南無阿彌陀佛の六字を刻しありたるが汽車[illegible]◎電車の通ずるに及びて破壞され、風致も亦損傷されつゝ大分市に入る

大分市一瞥

大分市に於ても新妻知事以下有志多數の歡迎を受け◎市內を案內さる、市は貧弱にして、[illegible]無きも、其れ共、當市の將來は熊本線を貫通する鐵道完成せば東[illegible]に於ける、經濟的中心地を形成[illegible]一般に期待せられつゝあり即ち熊本線開通せば大分港は大[illegible]すべし工業發展上の一大缺陷を拯ふ可且つ西九州との連絡[illegible]◎密接の度を加ふるに至りて經濟的面目を一新するに[illegible]ん、大分市民は茲數年後に實現すべき熊本線開通を以て、大分の第一步なりとなし意氣大に[illegible]り居れり、然して日向線完成のば從來海に陸に交通運輸の機關[illegible]く、經濟的に原始的の狀態の儘に在りし日向を開發すると共にその豐富なる天產物は水の低きに從つて流るゝが如く◎大分に聚集し[illegible]市民の前途には密接近接の關係を生ずるとして履け居る者の如く、市民の貧弱なるに似合はず人氣は旺[illegible]る模樣なり

日本固有の藝術創造

―歐洲の糟粕を嘗めて居られない 民族的覺醒

◇京城に完全な劇場のないのは意外だ

◇民族を背景とし基礎とした藝術の出現が要求される

去月下旬哈爾賓までの慌しい旅行をつゞけて直ぐ引き返し三日前入京目下貞洞なる日本畫家清水東雲氏方に滯在中なる當國文壇の大家生田葵氏は語る

◎最近に於ける日本の文壇の社會の思潮は、露西亞の革命の深刻な刺戟を享けて、そこに大きな變化を現はし、波瀾を生んだことは注目すべき問題であるとゝもにまことに慶ぶべき現象だと思ひます、即ち從來歐洲文學にばかり新らしい思想を探つて來た文壇の連中の間にもいつまでも

◇歐羅巴人の糟粕を 嘗めては居られない

といふやうなことに氣づいて、これまでに收穫したものを土臺として日本固有の新らしい藝術を創造せねばならぬといふ信念を持つて來たのです、要するに最近の文壇の傾向を一言にして盡せば

◎民族的に 覺醒して來たものと言へます、世界的名作として後世に永く名をとゞめるやうな力强い藝術を産み出さうとするにはどうしても、民族を背景とし基礎としたものでなければならぬといふことに有識者の意見が一致してゐるのです、私は

◇既にかういふ機運 に逢著した以上その內容においても、形式においても、今日まで現はれなかつた新らしい藝術が實現する時は必らず近い將來に到來することゝ信じます、現代の文壇に於ける權威なる島崎藤村、徳田秋聲、田山花袋の諸氏の如き何れも人世批判者としての修養と經驗とが可なりに多く積んで

◎一般社會 に對する著眼點も大分變つて來たやうですから人世の生活といふものに就いての眞實を語らうとする者は恐らくこの人たちだらうと思ひます、これまでの作家は餘りに若過ぎました、朝鮮に來ていろ〳〵感じたことはありますが最も意外に思つたのは朝鮮の首都たる

◇京城に完全な劇場 が無いことです

これは私自身が今劇の方に關係して居るといふ單なる理由からばかりでなく實際に然う感じたのです、濠洲あたりでは新らしい殖民政策の一大條件として新らしい殖民地には先づ劇場を造ると共に寺院を建てるといふことが殆んど一定の方針となつて居るかの觀があります即ち

◎殖民地と 藝術及び宗教といふことは元來相離るべからざるものであつてこれの發達するか否かが殖民地經營の和[illegible]政に密接な關係が有するのは歐羅巴諸國に於ける幾多の實例がこれを證據立てゝ居るのを見ても分るのであります、劇場の如き單に[illegible]民在住者の

◎慰藉娯樂 といふ意外に同化の上からも可なり必要なことなのです、日本固有の國民性を最も强く新市民の頭に染み込ませるのには、國體そのものを說きその精神を說くよりは、普通演劇とかお伽劇とかいふものゝ形式によつて

◇日本特色の神話傳說口碑の類を傳へ 不知不識の間に日本民族としての確乎たる大精神を注入したいものだと思ひます、詰まり國民的の感化は耳から入れることも效果が多いでせうが眼に見せるのはヨリ以上にその效果が大なるものであるといふのです、例へば京城日報がやつて居られる

◎お伽講演 も結構ですが更に一歩進んで、お伽劇の如きものをやられては如何でせうか、そして說話を說くと同時に一面前申したやうな口碑傳說の如きを傳へたならば究極の效果は甚だ少なくないだらうと思ふのであります

◇入京中の小說家生田葵氏

◎墺太利決鬪禁止

墺太利皇帝は陸海軍人に勅語を下し決鬪を禁止する旨を布告せり原因は國家多事の際私事私憤を以て祖國の爲めに捧ぐべき身軀を傷くべからずと云ふにあり(倫敦電報)

◎京都瀆職擴大 郡部議員大半危し

京都市會瀆職事件府會に及び尙火の手諸問題に及ぶ可く地方に榮轉の某氏二三の高等官郡部議員大半危しと(京都電報)

◎兵庫影宿火災 ▼十六戶燒失

三日朝一時兵庫縣美方郡兎塚村字影宿なる上田順次郎方より出火し附近住宅十六戶及び土藏二棟全燒同四時鎭火せるが原因は洋燈の不始末より發せしならんと(神戸電報)

◎里民五十憲兵分遣所を破壞す 憲兵二名を叩く 誤解よりの騷擾

二日元山憲兵分隊管內文川郡雲林面新倉里派遣所附近の農民五十餘名同分遣所を襲ひて是れを破壞したる上憲兵を袋叩きと爲し補助員一名を人事不省に陷らしめたり原因は農民が他人の山に在る桑畑の桑を採らんと爲すを補助員に發見され逃走の際一名は石崖より河中へ墜落せるを補助員が蹴殺したりと誤解せるものゝ如し(元山特電)

◎發狂した息子を殺す 母親と娘二人協力して

久留米市梅光寺大隈金江なつ(五七)は長女しげ(三七)三女よしの(十八)の三名にて二男片次(三十)を二日夜自宅にて斬殺せり右は片次が發狂して母親に不倫の行ひを爲すを怒りてなりと(久留米電報)

◎汽船坐礁 全南莞島沖にて

長崎汽船株式會社所有汽船第二長崎丸(六百二十噸)は三日午後三時全羅南道莞島郡吉島の西端にて坐礁したる爲め是れが救助として木浦警察署より警備船第二扇海丸は現場に急行したる旨全南警務部より警務總監部に電報ありたり

◎朝日山大關昇進

大阪相撲東關脇朝日山は來年一月場所大關に昇進決定せり(大阪特電)

◎母子で妻を殺す 姑の憎み夫の憤り

京畿道坡州郡青石面多栗里李二星(三十)の妻成奉禮(一七)は姑金千蘭(五三)と不和にて常に姑を惡し樣に吹聽し又夫の不在中に近所の崔景三といふ若者と不義を働きたる模樣あるを探知したる千蘭二星の母子は大に憤り五月二十日奉禮を麻繩にて縛り上げ亂打したる上遂に絞殺したること發覺し兩名は此の程坡州分遣所に逮捕されたり

◇川釣り ―漢江べり(六月四日鷺島所見)

◎釜山遊廓 無理情死後報 女はもと內縁の者

釜山綠町遊廓一丁目貸座敷思君樓の裏二階で廓の宵の午前四時にけたゝましい女の叫び聲が洩れ程もなく

▼寢卷の姿に 髮振り亂し頸のあたりに滴る血潮を押へ乍ら『許して、助けて』と救ひを求めつゝ娼妓桃香が樓主の部屋に驅け入らうとする騷ぎに上を下への大混雜の中を三十前後の男が血潮滴る白鞘の短刀を提げ凄慘の眼を血走らして驅け出し其の儘釜山署へ

▼自首し出でたる椿事に松永巡査出張の上被害者桃香を宇都宮病院に擔ぎ込手當を加へたるが咽喉部に一箇所後頸部に一箇所左手に微傷を受けたるのみにて餘病の併發なくば二十日間位にて全治すべしと加害者は既報の如く廣島縣沼隈郡横島村當時統營郡助羅里大工渡邊八右衛門(三十)と云ふものにて被害者桃香は從前

▲男と內緣 の關係ある愛媛縣北宇和郡吉田町大字東小路徐ちよ(三十)にて兩人の關係は大正五年十一月九龍浦の料理店川中に酌婦奉公中に始まり八右衛門はちよの色香に迷ひ果ては女房迄離緣して昨年の三月百五十圓にてちよを

▼落籍して 釜山牧の島に居るちよの父にも月々九圓宛の仕送りまでしてゐたが八月の末ちよの父より病氣かへれの通知に心配し手の品々を持たしてちよを見舞にやつたそれ切りにてちよの消息は沙汰も無く數月を經て漸く自分は父の發意北浜浦の料理屋平松方に

▼身を賣つ たから迎ひに來て下さい』と云ふ使に八右衛門は驚いて即刻甘浦へ行くは行つたものゝ身代金に困り一先づ九龍浦に歸つて金の工面に心を痛めて居る內ちよは再び今年の四月綠町思君樓に鞍替し桃香と名乗つて店へ出る事となつた、末は夫婦と思へばこそこれまでに

▼衣類を送 りもし五月の二日には遣繰した二十圓の小使迄も送つた八右衛門は三十一日宮平町大工大庭と僞名し初回を裝うて登樓したが心變りのした桃香には過ぎし昔の睦みは露程もなく剩へ送つた金や衣類の影も見えず怪しい男からの電話まで來て四日間流連してゐる八右衛門の心を次第々々に荒ました、かくて遂に

▼殺意を生 じた八右衛門は峨嵋山に夕日春く二日の暮れ南濱新納金物店から一圓十錢の白鞘の短刀を買ひ求め同夜桃香に情死を迫つたが心變りのした桃香の應じやう筈がないかくて戀に破れ戀に狂つた八右衛門は遂に怖ろしい慘劇を演じてしまつた(釜山)

◎生田葵氏歡迎會

目下入京滯在中たる東都文壇に小說家或は劇作家として知られたる生田葵氏のため同氏と親交ある吉田大日本麥酒出張所長その他三四の諸氏發起となり六日午後六時半より南山町京城ホテルに於いて歡迎會を催し席上同氏より最近の日本の文壇に於ける傾向に就いて一場の講演あるべく出席希望者は會費金一圓を添へ朝鮮新聞社角屋尖風氏又は本社三好宛に申込まれたし

お伽巡禮(三) 淚光生

「水原」

巡禮の二人一行が、御成功を祈りますとの、社員諸氏のお言葉を感謝しつゝ、車中の人となつたのは三日の午前八時四十分であつた汽笛をあげて走り出せば、かつて相逢ひ相語りたる龍山、永登浦の少年少女達の面影を忍びつゝ獨り微笑んで居る巡禮を乘せた汽車はいつの間にか今日の講演地たる水原の驛に落いた

〻原田京日販賣店主に迎へられて宿城[illegible]の人となる、所が人樣な事には宿舍が昨日今日出ないから一般に確定した事が分つていないとの事に早速大急ぎで計らなく、定まる眠るの大騷ぎ、やつと一息ついて風化堂の風雅なる黒松や、吹き亂れたる芍藥が昨夜の雨にたゝかれて泣いた乙女の[illegible]やうにうなだれた[illegible]

◇會場たる華城高等普通小學校の校門をくゞる、少年少女は先づ我等を迎ふるに微笑みを以つてした、私もまた微笑みを以つてこれに答へた、

◇此處は別に取立てゝ云ふ程の特色を有する土地ではないが堅實な農業本位な當地に於ける兒童の增加は年々に進み既に前後四回に渉りて校舍の增築をした有樣であるがこれを創立當時の十一年前に思へば實に驚かれる進步でその頃は鮮人民家を借りて授業するのに全校の生徒が無慮七名であつたそうだこれが現在は三百數十名の多きに達して居る

◇三時演壇に立つ本校三年以上の男女全生徒に普通學校の上級生その他父兄等で約四百名の聽衆があつた、二つの講演を約一時間に終つたが普通學校の生徒にもよく解せられたやうで何より嬉しかつた

◇眼多花なる中に[illegible]

◇アツ降りるのだと荷物をもつて出かけやうとするとピーゴトンゴトン、これは大變と驅出したが、最う間に合はん、二人顔を見合せて口あんぐり

◇致方なく〳〵次の[illegible]江に下車、[illegible]に入つたのが十時五分、これがお伽巡禮の[illegible]二日目の失敗振り、今十一時半、[illegible]く喰はれてはたゝき、たゝきてはパンを走らせて居ます

先頃西鮮地方巡閲として平壤地方に出張した古海警務總長一行は途中暴風雨の爲め一日沙里院に立往生した時のこと

▲無聊のつれ〴〵に總長は宿の內を見廻すとフト立派な請帖があるのに氣が付いた

▲拔いて見れば其の宿に泊つた總督府の高官や諸名士の記念揮毫の太文字から山水畫などが落款附きで澤山ある

▲總長は態と署名拔きで玄人負かせの一幅の山水畫を描き上げ新聞紙で蔽うて隱してゐると

▲宿の主人が大騷ぎで其の帳を探し廻つてゐるから

▲總長は素知らぬ風に何を搜すのだと尋ねると件の請帖を搜し出して總長に記念揮毫を賴むといふ返答

▲眼の前で新聞紙を取り除ければ鮮やかに一幅の山水畫が拔かれたが署名がない

▲主人の強つての願ひに遂に筆跡と署名された

◎二等卒の脫營

龍山步兵第七十九聯隊二等卒秋山春藏(二二)は三日夜九時半頃脫營逃亡せり

◎山口教育視察團

四日午後入京せる山口縣吉敷郡教育視察團の一行は三日間京城[illegible]に於ては五日午後五時より朝鮮ホテルに於て在市內の見學を爲すべし[illegible]因に在京山口縣人一行の歡迎會を開催するに付同縣人にて出席希望の向は本町田中文店內三好氏宛(電話七六四番)四日中迄に申込む可く會費は二圓にて當日持參のことなりと

◎妙心寺六月攝心

妙心寺禪堂にては五日より九日まで五日間毎夜午後七時より十時まで攝心會を舉行する由

◎無門會講本

無門會に於て從來提唱し[illegible]つゝありし[illegible]の講本一講は前回にて終了したるを以て今回よりは臨濟錄を用ゆることなれるが聽講者の便宜を圖り京城に於ても注文することゝなり居れるを以て希望者は此際同講本發賣所大和町友之鄕氏並に京城日報[illegible]中村健太郎氏宛に申込まれたしと

讀者文藝(一等には五十錢の[illegible])

▲俗謠「夏帶」

(選 仁川本町三丁目旅館內 土居久流美)

締た浴衣に夏帶締めて柳から浮く蔭島田(一等)

▲誰が心の涼しき模樣しめてうれしや今日の帶

▲晴れ姿涼しや綾錦浴衣帶の[illegible] 龍山 松本西子

▲[illegible]に散る飛沫 藏場 登美下

▲主の便りにきはもみぢばの水にちらしの帶

▲こめた想ひを綴る帶よ扇子隱した帶の內 三千浦 三 青

▲君の情の色美しく縫り染めたる夏の帶 仁川 矢谷花翁

▲うれしがらせたこの夏帶もにくや思ひの種となる 全州 高砂町人

▲キユツと博多の夏帶締めて朝湯戻りの粹な姿 濟南浦 紫峯

課題募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は實名の外に住所氏名明記の事▲[illegible]

商況

東京期米特電

四日前場 二十五圓八十九錢

兵庫期米

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

◎綿糸布更に不味

大阪三品は昨後場更に瓦落し今朝場も尙不味の成行きなり入帶は米綿二十四仙四十仙にて當限三百四十錢先二百七十六圓と四圓安綿布は龍[illegible]共に[illegible]

現物三[illegible]十圓五十

五錢安 市場氣迷

◎銑鐵品拂底 三十圓高

◎內地麥類强調

南大門の廻漕

下關相場

◎色豆反 發高

◎正米弱保合ひ 一般氣迷

仁川正米

釜山穀物

生魚市場

仁川期米

四日前場(暴落) 大阪天候曇 第一節 天前管二十五圓

期米暴落す 二十四錢急轉五十四錢 人氣は頗る動搖し 錢切の暴落を演出

市場雜觀

九十二錢と昨止より二錢安

大阪跡安移り 賣物多く五十五錢暴落

▲中先の崩に中先の崩 餘な有減少 一萬八

▲郵船株

北濱たより

仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店 店主 猪飼政太郎

仁川在庫穀物 仲買店

仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎

仁川米豆取引所

四日 六月限 七月限 八月限

仁川期米

平均値段

仁川米豆取引所 四日の八月限

◎義州通の小火 京城義州通一丁目四[illegible]地[illegible]方より三[illegible]

三日午後入港壹岐丸 三日午後入港 陸二[illegible]等客

紙上寶探し

お伽噺 長者の娘(上)

龍山涙光

京子の生れた月蓋長者の住居は、それは〳〵大きな、二丁も三丁も續いた大手の廻らされた、王者の御殿も及ばん程の立派さでありました。しかし斯うした表面から見れば何の苦痛もないらしい、そして全印度にその名を知られた十萬長者の京子のお家には、昔から妙な噂が續いて來てある不幸が絕なかつたのでありました。

その噂と云ふのは此の長者の邸は元、此の國の王樣のお城であつたお庭に續いて何處まで續いて居るか判からないと云ふ深い〳〵氣味の惡い森があつて王樣の一族は森の魔物に殺されて仕舞つたのだと云ふ事でありました。長者は金にあかせて『何そんな馬鹿な事があるものか』とこんな立派なお家を建てましたが、來た其の年から不幸が年に一度は長者の一家を襲つて來るのでした。

京子は此の長者の一人娘でありました。其の美しさは天女のやうで顏はまるで雪のやうに白く、唇は紅のやうに眞紅くつて、髮は黑檀のやうに眞黑くつて、まあ、其の目の色の凉しいこと、長者夫婦は京子なくては日も夜も明けぬと可愛がつて育て〳〵居るうちに月日は流れて京子は七ツになりました、生れてこゝに七年間、長者の一家に起る不吉な事は夢にも京子は知りませんでした、また親達も斯んな愛らしい子供にそんな事を知らすに忍びないで何事も秘密に過して參りました。

斯うした間にも冷たい冬は何時しか去つて樂しい春が長者の四邊を取まいて來ました廣いお庭には一面に花が咲き亂れて毎日花盛りが醉はされたやうに美しい長閑な景して居ります。その香の中に鳥は囀で春の調べを歌つて居ります、斯うした歡樂に釣り出された京子は侍女と共に緣側から庭に下り立ちました、紅い夕日が西のお山に其の姿を沒せんとして其の餘光が一段强烈な花の薰りを四邊にはなつて居ります。侍女はお池の側の小石に腰を下して花に暮れ行く歡樂の姿を瞳を凝らして追うて居ります。自然の美に包まれて今は京子のお守りをする事も忘れて居るやうです。宿に迷うてか、また花の香に此の庭を去り兼ねてか白い胡蝶が京子の長い振袖の花の模樣に戯れて居ります『まあ、きれいな胡蝶!』京子は長い袂で取らうとしましたが、胡蝶はヒラリと舞うて飛び去りながら彼方の木蔭から『お出でお出で』と招いて居ります愛らしい京子は愛らしい胡蝶を追うて、お庭に續いた森の中へ……恐ろしい魔の森の中へ入つて行きました。森の奥からは夕闇が惡魔の手のやうに四邊を次第〳〵に包んでしまひました。祇園精舍の鐘の音が入相を告げて歡樂に醉うた人々の夢を覺まして響きました。

△後場常限出來申不
△中限一節二十二圓六十四錢五…
[illegible]

…突の焚口より延燒したるものなり

◉連絡船上陸客 三日午前 [illegible] 野口四郎、伊藤正之助、金丸かつ、 [illegible] 一、山本まつ、高畑らく、内川 [illegible] 非竹 [illegible] 吉、枝川吉次、桑田太三郎 [illegible] 本邦一、外人一名 [illegible] (八十一名)

遊滅なのは土地辟遠の爲め料理店や旅館の設備がないから多少の不便は免れないが大田方面から一日の閑を利用して出掛けるのも最も妙であらうと思ふ(大田にて靜山生)

◉南洋と滿洲 光瑞師の開墾事業

石原理學博士談

大谷光瑞師の事業は著々進捗して居るが例のアミーバ赤痢は全快したと云ふ程にはいかない、さうして星ケ浦の方の家は空いてないから八月一杯は旅順に滯在するさうである、何分にも事業地は森林で是れが開墾は容易の事業ではない。澤山の樹木が生茂つてゐるので此の頃小さい處は燒き拂ひつゝあるも大きな處は燒いても駄目だから伐る而して其の根を掘起すのだから實際困難な事業だ、又椰子油も精製すれば實に立派なものが出來るそして價額も上り需要もある事が十分に見込みが立つたから其の機械を調達する事になつた。

買た南洋の島二つ

南洋と滿洲と云へば一つは北一つは南の端と云ふて好いが大谷師の事業開始によつて何處やらに脈絡が相通じてゐる樣になつた、現に大連の楠原氏や田中氏等は最近に南洋の島二つを買ひ込んで大に光瑞師の事業に等しい事業をやると力んでゐる(安東縣)

◉滿洲の鮮妓

◆長春だけで三十六名◆

近來滿洲各地に於ける朝鮮人藝妓酌婦の發展頗る目覺しきものあり如何なる邊僻の土地にても日本酌婦のある處必ず彼の姿を見ざる事なき程にて尙續々奥地に向け發展しつゝあるが長春にある朝鮮人藝酌婦は附屬地四戸二十八名、附屬地外三戸八名即ち計七戸三十六名にして細別すれば附屬地は滿月(九人)大正館(六人)明月(八人)大世館(五人)附屬地外は朝日館(一人)東洋館(三人)義州館(四人)なるが此内一番年少なるは滿月の月出(十七)張獨得(十七)年長者は明月の紅蘭(二六)李時雨(二六)なるが出生地は慶尙南道の廿一人を最多とし、平北七人、京畿三人、平南二人、慶北、黃海、全南各一人宛なり(長春)

◉平壤の産牛は何故高價なる乎

四五倍に暴騰せし理由

平南道最近の調査によると大正元年大正二年頃は一頭の牡牛が五十九圓弱であつたのが大正三四年の度には凶作の上に水害等諸所にあり且つ穀價暴落して牛の需要が無くなつた爲め其の價も從つて低落して二十二三圓といふ極端なる低價を示したが大正五六年になつては穀價は急劇に昇騰した上に牛使用の途が廣くなり且つ牝牛等を賣らないといふ關係から買ふ事が出來ないといふ爲手放したら百圓近く迄騰貴し現今に至つては牡牛賣買の平均價額が百十圓を越して大正三四年頃の約四五倍になつてゐる本年牛價暴騰の主なる原因は穀價暴騰の結果農民の經濟が裕になり牛を賣るの必要が無くなつたのにもよるが内地に於ける耕牛は大半食牛に供せられた爲その缺陷を補ふべく朝鮮牛を内地に輸移出して日々馬關に陸揚げするもの百頭に餘るといふにいたく影響されて居るとの事である(平壤)

◉ホルワット將軍を訪ふの記

(下) 溝の出來たセミヨノフ將軍との間

◇記者は一日スタル、ハルビンに白髯のホルワット將軍を官邸に訪うた、官邸はオウエンナヤ街を上りつめて左にパザルナヤ街を行きつめた右手の奥深く廣がつて居て官邸には露哈爾賓彈藥倉庫守備兵の兵營を占領した吉林第一混成旅步兵團の武裝支那兵が時節柄嚴重に警戒に當つてゐた

◇記者は低迷する暗雲に蔽はれてゐる白髯將軍を思ひながら邸内に入つた、宏壯な邸内には白樺や雜木の新綠が滿潮線の軌道に添うて奥深く何處迄も續いてゐる、さうして初夏の午後の外光にギラ〳〵輝いた新綠は白堊の建物に濃い綠を投げてゐて靜である靜かな新綠中に突立つた記者は何者かを其處に得樣とする其の時スケート場で馴染になつた、小さいホルワット君が茶褐色の洋犬を相手に樂し相に戯れながら記者の方に近づいて來た、で記者は突つ立つた儘、小さいホルワット君の近づいて來るのを職業的な一種の好奇心から待つてゐたが、其の時邸内に突立つた記者を最前から不審相に眺めて居た武裝の支那兵は驅て『長官は留守ですよ、それに無暗に邸内に入つてはいけません』と無愛相に云つて記者を追ひ立てた

◇夫れから數分間の後記者は武裝支那兵……白髯將軍……小さいホルワット君……と明るい綠の曠原の一筋路を夫れから夫れへと空想を展開さして車上の人となつた(哈爾賓にて——近藤生)

◉對露貿易は益々好望なり

◆値段に構はずの註文◆

近來莫斯科より哈爾賓邦商に對し商品の註文陸續として來れりと云ふが而も如何なる高値にても辭せずと云ふ一般物資の極端に缺乏せる露西亞の事とて之は當に莫斯科市のみの事にあらざるべきも何分輸入絕對禁止同樣の現狀如何とも爲し難きも若し他日輸入の途開かれんが我が對露輸出は必ずや奮に倍し盛況を示すべしと(哈爾賓)

◉朝鮮一の湖水

三千二百町步を灌漑し　其の上淡水魚を養殖して　駐剳軍兵士の副食物に

湖南線黃登驛の南約七町の處にある黃登湖は朝鮮一の湖水である、尤も朝鮮一の湖水といつても周圍八里で之を近江の琵琶湖に較らべれば其の七分の一にも足りないがソレでも常陸の北浦や北見のコムケ沼、下總の手賀沼杯さ伯仲の間にあつて陸中の十和田湖や函館の西の湖杯よりズツト大きく面積三百萬坪即ち一千町步を有してゐる此の湖水は昔し腰橋堤又は腰橋湖と稱せられてゐたが近頃黃登湖と改稱されたのである。此の湖水は現在臨益水利組合の貯水池となつて居て現に

◆裡里群山附近の平野 三千二百町步に灌漑してゐる◆

最近迄は今日の如き大湖水ではなかつたのであるが明治四十三年中堤塘八百餘間を築造して盛んに水を貯め込んだので山や田や畑が地底に沈んで約一千町步の水面と化したのである。今現在の水面を三尺高くすると是れ以上の美田に灌漑する事が出來るが、湖畔に半島形をなして居る陸地は爲にヨリ以上水中に沒する見込みである何にしろ三千二百町步の水田を濕ふす爲めに一千町步の貯水池は勿體ない位ゐであるけれども、採算上充分の利益となるから仕合と申す外はない初め臨益水利組合が立派な湖水を其の儘放任して置くのは勿體ないとあつて同地方の有志三十餘名の共同出資で

◆養魚組合を創立して 目下養殖と漁撈事業の計畫中。

であるが數年の後には必らず見るべき利益を擧ぐる事が出來るだらう、現に養魚組合には淡水魚養殖に經驗深き阿閉寅吉氏を技手として諸般の設備中であるが、其の主なる事業は鯉の養殖と魞の補え込みである阿閉技手の說に依れば同湖に棲む魚族中には未だ名稱の不明なものもあるが重なるものは鯉、鮒、カムルチ、鯰、鯽、バス、アタカ、ギギス、スゴーツモロコ、イシモロコ、ボテ、鰕とか、一體魞と云ふのは近江の琵琶湖が本家本元で、朝鮮に移し植ゑたものは黃登湖が最初であるかも知れぬ、魞は字の如く魚を入れて獲るので長サ數百間に青竹を立て簀の子を以て張り廻はし魚族の來り集る樣になし迂餘曲折、其の終りを袋の底の如くに拵らへたもので先づ以て魚の爲めには危險で

◆一度迷ひ込んだら最後 再び出ることの出來ない仕掛。

になつてゐるものである魞は魚の大小によりて簀の目を大小に區別して置き必要に應じて手網即ちタマを以て掬ひ取るのである魞に入る魚族の大なるものは第一が鯉で二尺五寸位から三尺位のものが取れる、其の次には俗にカマチと稱するカムルチ、此の魚は恰かも蛇に似てゐるので日本人間には餘り喜ばれない、此れでも二尺位のが獲れる

◆次は鯽で大きなのは 一尺位ゐのものが往々獲れる。

其他大小の金鱗銀鱗がタマに掬はれて潑剌と撥ね返る光景は美事なものである、近來川魚の需要漸く殷く龍山や大田の軍隊にまで兵士の副食物として納入せらるゝので同養魚組合では販路に困る事は絕對になく、却つて需要に應じ切れないと云つて居る、價格は鯉や鮒が百匁八錢見當で、小さい雜魚になると四五錢位である近來遠近の團體が

◆舟遊び兼魚漁に來る ものが漸く殖ゑて來たさうだ。

愈々お待ち兼の(今夕と明夕の紙上)

京 紙上寶探し(第一回)

『お伽噺=長者の娘』を御讀みになつて其の文章の中に京城日報といふ字が幾通りありますか。讀んで行くうちに例令ば『京子』の『京』の字とか『日』とかいふ字を拾つて行くと、何通りかの京城日報といふ字が出てきますから、其の四字が此の文章の中に一つなら一つ、二つなら二つ、乃至十ならば十と書いて端書で『京城日報社紙上寶探係』として送つて頂けば正解者には抽籤で左記の賞品を差上げます、但し月極購讀者の外は無効であります、又此御伽噺は今夕と明夕の紙上に跨つて居りますから兩日發行の分を併せた上で御回答を願ひます

賞品		
一等	反物	(七名)
二等	應接室用置時計	(十名)
三等	パナマ帽	(十五名)
四等	浴衣地	(廿名)

締切は六月二十日、當籤發表七月三日の紙上(發表と同時に賞品を發送す)

演藝案内

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番
△五月二十五日より開演 ○東都浪界の [illegible] 吉川家辰右衛門 若 [illegible] ○關西浪界重鎭千歳家九州男 [illegible] ▲(前座員數名出演)▲播隨院長演 ▲術(芙蓉)▲義士傳(若虎) ▲乃木 ▲金物土産(辰右衛門) ▲村上 ▲劍、寬永三馬術(九州男)

黃金館 電話二六三七・二六六 大阪色 [illegible] 京城黃金町一丁目代理店
當る六月三日より特別大興行 [illegible] ▲特別大撮影 [illegible] ▲四郎五郎市川延十郎大合同 天正豪傑毛谷村六助 ▲新派大悲劇『色のみだれ』全十三 [illegible]

有樂館 活動寫眞常設館 電話(局七)二五九 [illegible]
當る廿一日より六月六日迄 [illegible] 第一回ブリウバード [illegible] ○森林美譚『人の力』全五卷 [illegible] ○人情活劇『アンブロシヤ』全五卷 [illegible] ○教育お伽劇『月宮殿』[illegible]

壽座 京城壽町 電話五七八番
日本歌劇協會一行 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible] 三十一日より大寫眞提供 [illegible] ○滑稽活劇『チヤプリンと傘』長尺 ○人情劇『女運轉手』『八千呎』[illegible] ○新派大悲劇『天下の糸平』三卷 [illegible]

ちゞれ毛

チヂレ毛が髮の結へない恥かしい元素を不思議な物から發見しました此の元素は髮を艶くし其上からかく毛をやわらげ…チヂレませんクセ毛 [illegible] ナンデも直ります毛を直すも一度直つたらニ度とチヂレ… 人の禮狀も毎日參ります御用の方はハガキを下さい 美髮本舖無代進呈 東京淺草山ノ宿町五十一 丁巳堂

大連燒酎

於大正元年拓殖博覽會 金牌
於同二年明治紀念博覽會 金牌
於大正三年大正博覽會 銀牌
於同六年化學工業博覽會 銀牌
開業以來以上四個の賞牌を頂きました事は品質の優良なるを證明するものです
大連燒酎製造所 九鬼榮助

大阪堂島米穀取引所仲買人
冨永龜次郎商店
營業案內無代進呈
電話 {本局北 一〇七三一番 一五八八番 一九六番 二五番} 略號 (ミト) (ト)
大阪堂島濱通一丁目
前金注文紹介不要

眼科專門
入院隨意
江頭眼科醫院
京城明治町東拓横(電話二〇四四番)
日曜祭日午後二時迄　江頭富雄

酸素療器
商標
オキシヘーラー
▽オキシヘーラーは其効力の顯著なる本器使用僅か五分間にして三乃至五日の血壓を亢め一時間を繼續すれば實に十乃至二十日の活力を增進す試に血壓計、脈波計等を以て之を驗せば其調節の狀を明に計量せらるべし
▽微妙なる酸素吸引力を增大し健康の元素を補ふが故に酸素吸引力を增大し健康の元素を補ふが故に血液中の難治の疾病を根治するに空前の偉力を有す…より酸素使用者は忽ち脈搏强實となり全身の溫暖呼吸の深長を感じ次で熟睡、爽快、食慾の亢進、兩便の快通等生理的本能を回復するの神速なるは實に天下の奇驗也
▽治癌實驗例說明書贈呈△
本器は前島震太郎氏の發明に係り佛國及西班牙政府より既に特許證を交付せられ尙日、英、米へは目下出願中なり
(特色)〔使用法簡易効力永久不滅にして電池の如く消耗するものにあらざれば器械以外永遠に何等の費用を要せず〕
▣正價金參拾五圓▣
他に類似の品を販賣する者あり注意せられたし
東京牛込區若松町(北市電停留所前)
オキシヘーラー獎勵會
電話番町四四一九・振替東京二七一一

銅眞鍮線
京都府下秋月稿 電上六二
河本製線工場

急奔の氣漲る
小口落禁止問題は取引所株に影響し延て堅實株に波動せり這は畢竟一波動いて萬波を生ずるの類のみ其震源たる豚問題に因る相場は既に終了す、亞て來るは堅實株の昂騰也茲に第四回を組織す豈徒爾なりとせんや、何人か此好機を把握し我會と共に優勝の快を頒たんとするか
第四回 株式郵船商新買同氣會
日本信託商會債券部
▣一口加入金　金五拾圓
▣申込期間　六月廿日迄
▼會則贈呈
大阪市北區堂島濱通一丁目三 電話長北九七二 振大四〇五六九

京城府明治町二丁目(本町江戸川横丁入る)電話三七八番
內科 小兒科 チアテルミー科 入院隨意
中島醫院
(醫學博士 前田醫學博士)院主　中島貞(肓)

報 [illegible]
…見通但書には五十號と明記…但何番何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局讀者係者

謹告

五月中當店賣買高
六拾貳萬七千九百石(第一位)
大正七年上半季(自六年十二月至七年五月)賣買高
參百七拾九萬四千八百名(同上)
右之通に有之春來幾多の波瀾に拋織ぜられながらも又々第一等賞の光榮に浴するを得候段全く大方華客諸君の厚き御引立の御陰と存候茲に謹而御禮申上候
大阪堂島米穀取引所仲買人
㊇ 曾我一郎商店
電話北長 {二四八番 二五〇番 二四九番 一二六六番} 自宅電話西宮一八二番

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第九十六席

山名監物我を呼ぶは何者かと足を止めて後ろを見ると宙を飛んで山路を驅つたる一人の若者○『山名殿暫時お止り下さい』と近寄つて面を包んだ笠を取る、監物斯くまで變裝した拙者を早くも見知つて聲を掛けるは何者なるかとよく〳〵見ると義輝公の小姓を勤め鹿苑寺に在す義輝公の末弟周暠坊の給仕をして居た美濃屋小四郎といふ者。監『御身は小四郎ではないか何して此處へ……』小『山名殿は御存じあるまいが都に一大事出來いたしました』監『一大事とは』小『斯々の次第三好のために將軍は敢なき落命、周暠樣にも御生害、甲の弟君覺慶樣は南都一乘院に在せし處を三好のために囚はれ今は南都猿澤の大善院へ幽囚の御身實に足利家の運の窮み拙者は此事山名殿に告げ奉らんと夜に日を繼いで越後へと志し飛驒より信濃路へ掛り計らず驛にて御姿を見掛け宙を飛んでお跡を慕ひました次第』と委細の話しにアッと驚ろいた監物、大地に撞と坐し天を仰いで嘆息し 監『南無三運の究めとなつたり、御使ひ遲かりしゆゑ逆臣に君を殺させたるは監物の罪、此上は切腹して御詫仕らん』と一刀の柄へ手を掛けるを小四郎押止め 小『今は死すべき時ではござらぬ寸時も早く立戻り、三好の一黨數あれども彈本といふ長慶父子が松永君成三人の中一人なりとも討取つて其後死するも後れはいたさぬ』小『四郎と共にお引返し下さるやう』監『成程、之れは若年ながら御邊の言葉尤もとも、最早將軍果て給ひし上は上杉の加勢催促にも及ばず、六日の菖蒲十日の菊後悔すれども詮方なし此上は御邊と二人都へ引返して兎も角もいたさう……』小『夫れが宜しうござる』と監物小四郎を從がへ暁いても居られぬ場合直に都へ指して引返したが最う美濃から近江路へ入ると三好方の手配嚴重にて迂闊に足を踏込めない依つて兩人相談の上南部猿澤大善院に幽囚されて居る覺慶禪師を救ひ出だし奉るがせめての忠功と玆で大和路へ入りまして、此邊は敵黨の巣といつても然るべき土地であるから中々晝は姿が見せられないから夜になつて奈良へ入りました、時に永祿八年五月二十七日の事で五月雨ならぬ大雨大風之こそ天の與へと兩人蓑笠に身を忍ばせ猿澤の大善院へ近付き樣子を見ると幸ひなるかな見張りの者も今宵は安心して番小屋へ引込んで油斷して居る、マンマと築地を乘越して大善院の境内へ忍び入り、兩人ホッと息を吐いたがサテ何處に在すやら所在は分らぬ、之れには兩人も困つた其中小四郎耳を澄して 小『讀經の聲がするは正しく禪師に相違ござらぬ、聲を便りに參つたら御座所も分りませう』と彼くも氣付いた樣子に監物も尤もと玆で聲を便りに近付くと、本堂の後ろの竹林の中に離れ座敷があるのは正しく覺慶禪師の居所でありますから、兩人雀躍して打ち喜こび、戸口へ近付いて 監『覺慶禪師は在し給ふか、禪師殿は御在しますや』と呼ぶと覺慶禪師を置いて立上り 覺『我を呼ぶは何人なるか』監『拙者は山名監物、亦一人は美濃屋小四郎、禪師を救ひ奉らんと之れまで忍び入りましてござる、折からの大雨は天の與へ一時も早く御立退きあるやう願ひ奉る』覺慶大に喜こび 覺『我も疾より忍び出でんとしたれども警固の隙なくして徒らに日を重ねたり、汝等は誠の忠臣 志しは何と言葉に謝し難し、然らば案内賴むぞ』監『心得ました』と監物小四郎の兩人が覺慶禪師の手を執つて引出し、兩人案内して此處を去らんとする、物音に驚ろいて驅付けたる警固の者共がソレ曲者と取卷いて既に三人討たるゝ處へ天一人の勇士を下して之れを救ふといふ愈々塚原小太郎の働きに移ります。

皮膚科 外科 專門 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話二三五八番

今日のおやつは モナかときめて 電話かけましよ木村屋へ (京城明治町 電二八七〇)

暦 六月五日 九星 舊四月廿八日 甲申 本命 七赤西平先勝

▲七赤●● 引張込主義の事有日新事見合南方は吉喧劍西▲八白●● 効ぬ賦す日轉居開業入發名弘命仲求職婚禮特許出願萬吉▲九紫●● 左難義の事有日新事手控病事は吉保證紹介等な禁ず▲一白●● 諸役の日轉居行商入門名弘求職出派命婚姻船業等萬吉▲二黑●● 錦上花を添るの日轉居開業等皆吉女子は一層好事有人來▲三碧●● 不運の日午前不可午後は吉新事手控ゆ事出業は妨なし▲四綠●● 脚下の見ぬ事有日新事手控事は吉一切のかけひき禁ず▲五黃●● 縁りよき日轉居行商旅行名弘求職會議家作婚禮仲立業等萬吉▲六白●● 同情多き日常の志願を成就す殊に談判事など賴まるに妙也

牛乳 御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

實用 和服セル 一、單衣、夏羽織 仕立上げ 金八圓九拾錢 ●送料鮮内十二錢外三十錢 ▲呉服物一切昂騰の折柄聊か御厚情に酬ゆる爲め特に研究の結果賣出候品に有之候 ▲地方より御注文は御申越次第見本切御送付可申上候 京城太平通一丁目 京城日報社代理部

贊化病院 京城明治町一丁目 電話二四二番 內科 小兒科 入院隨意 無料施療す 毎日五名を限り 醫學博士 古城憲治

紳士の頭髮を飾る 高等煉香油 二葉ポマード 棒チックを要せず調髮は思ふがまゝ 紳士淑女は申に及ばず到る處で高評 大阪久寶寺町 化粧品問屋 角倉支店

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版 最も熟練せる技術を以て迅速と丁寧を旨とし 京城日報社寫眞製版部

りん病 日本一 專賣特許 醫學博士證明 自宅器械療法 生殖器障害も同器で治る 他の療法に有効の淋疾、尿道狭窄、二三十年の慢性を治し 完全、強壯 ハガキ申込に說明書無代進呈 東京京橋本材木町三 新療法研究所 大阪市北區北森町壹 新療法研究所 京都烏丸通魚棚下ル 新療法研究所 京城本町二丁目七一 新療法研究所

胃病 良藥 胃活 本舖 東京日本橋本銀町 山田安民藥房 大阪南久寶寺町二 山田安民藥房

胃が丈夫であれば、體力も强健になる、頭腦も明晰になる而して有ゆる活動にも艱難にも容易に堪得る樣に成る 胃を丈夫にするには我陸軍の大軍醫が合議して製剤た健胃劑中の王と云はるゝ胃活を服むに限る

三千五百圓

經濟を兼ねたる快樂

外觀 此オーヴァランド自動車は其曲線と仕上げに於て優美なるスタイルあり。

行動 能く信賴に耐ゆ。速力と持久力大。事故を生ぜず。

乘心地 道路善惡を問はず乘心良し。運轉自由自在也。

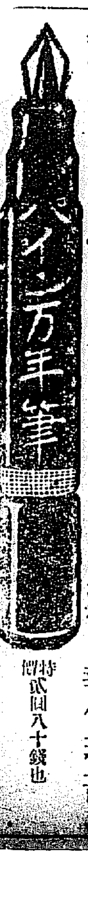
實用 自動車專門最大工場にて製造さるゝを以て其實用に適する事は充分に保證さる。

價格 購買、製造に最大規模の經濟を應用し居るを以て價格低廉にして而かも品質絶良也。斯の如く有利なる自動車は他に類を見ず。

試みにオーヴァランド製造自動車中の一臺を求めらるれば諸君は初めて納得さるゝ所あらん。

ゼーエッヂーモーリス 京城府貞洞拾九番地

ウィリスオーヴァランド會社 米國オハイオ州トレド市



堅牢無比 パイン萬年筆 『學生號』 特價貳圓八十錢也 萬年筆發賣 京城日報代理部

邪氣を拂ふに菖蒲酒!
虫氣と濕氣を拂ふに鍾馗印!!
一 定價 小形 金五錢 中形 金十錢 大形 金十五錢 菲石形 金二十錢 各地藥店にあり ■御注意■ 有孔紙包の儘御使用あらば永く保て御徳用

汽車 京釜線(南行) 同(北行) 京釜連絡 京義線(北行) 同(南行) 京仁線(仁川行) 京元線(北行) 同(南行)

京城日報　第五版
六月五日朝刊（朝夕刊を併せて八頁）

東京より　在京一記者
日支協約と東邦の局勢（二）

○露國にして統一の主體無く民族分裂し、人民が社會共産主義に心醉し、國土を擧て、敵國の蹂躪に任せ、無政府の狀態に甘んずる以上は、露西亞と云へる世界の强國は、今や地理的名稱に過ぎざるのみ。世界政策を擴大するを以て國是とせる獨逸が、露國を其の勢域に收めて、東方進出の計に出づるは必至の勢にして深く怪むに足らざる也。

○蓋し獨逸の東邦に進出するの路三あり。西伯利亞鐵道及び東滿鐵道に由るものは、烏港、ニコライスク、哈爾賓、長春等に及ぶべく、延きて我が南北滿洲の利益線に侵入し、渤海の灣口に出づるもの、其の一也。西伯利亞鐵道線のオムスク及び土耳其斯坦に由るものは、新疆、伊犂、甘肅方面に及ぶべく、延きて支那の西北疆を脅威するもの、其の二也。又た西伯利亞鐵道線のイルクックより南下するものは、直に外蒙及び內蒙を通じて、滿洲及び直隸省を壓迫し來るもの、其の三也。

○露國民族にして、眞に克く革命の精神に基き、統一あり、主體ありて國家を改造し儼然獨立國たるの權威を保たしめば、如何に獨逸の雄を以てするも、路を露國に藉りて、東邦に進出し、日支兩國の平和を攪亂するの擧に出でざるべしと雖も今や則ち然らず、茫々たる西伯利亞の平原、獨逸の鋒を遮ぎるもの無く、滿洲里以西、喀什喀爾に及ぶ三千里の地域、何等の防禦無きに於て、獨逸の東漸政策は實現せらるゝもの、覺悟せざる可からず。是れ豈東邦平和の最大危機にあらずして何ぞや。

○此の如く露國の崩潰と獨逸の東漸とは、東邦大局の大患にして、日支兩國の深憂とする所也。此の時に當り、日支兩國にして、其の意思疏通を缺き、各相孤立し、單獨的行動に出づるが如きあらば、其の不利益擧て言ふ可からず、支那が獨逸の慣用的離間策に陷りて或は獨逸勢力の乘ずる所と爲らむも未だ測る可からざる也。故に我が帝國にして、獨逸の東漸政策を防遏し、東邦永遠の平和を確保せむと欲せば、苟くも日支提携の政策の實現を期せざる可からず。日支提携政策の實現を期せむと欲せば、日支兩國一身同體と爲りて防衞同盟を締結し共同一致の下に防禦方法を講じ、牖戸を綢繆するの用意無かる可からず。嗚呼是れ實に日支軍事協商の成立したる所以なる歟。

馬匹の改良に就て（二）
於經營者集會所　淺川中將講演

西部戰場に於ける獨逸騎兵の働、英佛軍の恢復攻擊、佛軍騎兵の働、東部戰場の中央突破に於ける獨逸騎兵の働、或はルーマニアに於ける騎兵部隊の働、何れも戰術家の着目する所である。其の他兵器の進歩に從ひ

△他の偉力は　益々增大し從つて其の數も增加し來つた爲に要する挽馬は莫大な數に上つた。佛蘭西には平時三百萬頭の馬があり、既に百有餘年の改良を遂げた今日であるから、百分の百までは軍事の用を爲す馬であるが、それにも拘らず今度の戰役に際し、北米合衆國より輸入した馬の數は夥しいものである。英國の如きはサラブレッド其他の馬種はあるけれども、軍用の馬は甚だ僅である。そこで最初より合衆國から輸入した譯であつて、英佛二國が北米から輸入した馬の數は既に百萬頭に上つて居る。斯樣な次第であるから將來我國の編成上に就いて考へて見るのに內地丈の馬では

△到底不足で　ある。そこで如何にして此の不足を補ふかは多年研究し來つた所であるが、之には色々な方法もあるだらうが、國民をして馬事思想を得せしむる事が最も急務であると思ふ。由來我々日本人は馬とは接近して居らない。昔は各地に牧野があつて放牧される馬が多かつたものゝ樣であるが牧野は段々開拓されて馬は追々驅逐せられ、今日は東北地方に於てすら馬の數は減少するの有樣である。倘ほ一面には世界各國とも旅行をするに馬を利用するのが普通であるけれども、我が日本に於ては馬に依つて旅行する事が甚だ少く又一般之に乘る事を好まず、段々

△馬と遠ざかつて居る、殊に馬は本來野獸的の性能を有つて居り、動もすれば人に危害を加へるので一般馬から遠ざかるを便として居る樣な事情もある。即ち馬の性能は人の好む所でないと云ふ所から不便を忍びつゝ馬に遠ざかつて居る。是等が一般日本人が馬事思想に缺けて居る大原因を爲したものであらうと考へられる。倘又我が國の氣候が甚だ農作物に適順で頗る天惠に富み、敢て耕作上動物力を假らずして、己の勢力を以て優に一家を維持し得ると云ふ事も其一原因であらうとも思ふ。斯の如くにして今日に於ては國家が馬の必要を感ずる程一般が其必要を感じて居らない。隨つて未だ

△馬の必要を　感ぜざる農家に馬を强ひると云ふ譯には出來ないのである。そこで先づ第一に馬に接近し、馬に親みを有つ樣に仕向けて行く必要があらう。馬事思想の普及は此の意味に於て最も必要なのである。

獨逸の强いのは平素の訓練

○獨逸は最初からの出方が違つた多年計畫せる軍備を實際に行つたのである、露國が以前のやうに東部で頑張つてをれば西部の方も今回のやうな攻勢には遭はなかつたらうが、獨逸は露軍が敗軍すると東部の兵力を西部へ集注したのだから堪まらないこれ迄五角であつた兩軍の優劣は忽ち一變して、聯合軍が受太刀となつたのだ。○開戰以來既に四箇年にもなつて居るのであるから、實戰上の經驗は聯合軍にも十分出來てゐる筈だ、更に獨逸が强いのは平素の訓練が出來て居るからである、募集兵や志願兵のやうな俄か拵への軍隊と平素多額の金をかけて十分に練り拔いた軍隊とが同じ能力と働らきを有してゐたら何處の國が不經濟な常備軍を置くものか、日露戰爭

するのだから隨分やり難い仕事である、其上米軍も募集兵のことだから之が少數ならば勿論大した効もなからう、然し實戰より得た一箇年の經驗は平時の十年にも優るのであるから要は兵數の多寡にあるのだ、又獨逸の强いのは四面敵を受け、國家の危急に際しながらも國民全體がよく一致して交戰の事に當つてゐるからである、或る人は獨逸の學者が軍閥の爲に屈したなどゝ言ふが國家存亡の際に於ける國民として國家の爲に屈し且つ譲すのは當然で何も不思議なことはない○目下の戰爭は總て塹壕戰であつて戰野と違つて居るから、双方共さう脆くやられてしまふやうなこともあるまいが昨今の西方戰場の狀況を見ると多少懸念すべき點がないでもない（某軍事談）

◇初夏＝漢江べり＝　石田富造筆

獨逸の產業並に商權擴張策（四）
植民政策（八）　賀田直治

今回の歐洲大戰前、露國に於ける獨逸人の勢力が如何に大なりしかを知らんが爲め、露國の外國貿易年鑑を閱るに、現に開戰當時獨逸より露國に輸入せられたる貨物總額は、露國總輸入額の百分の四十三に相當し露國より獨逸へ輸出したる額は、露國總輸出額の百分の三十三に相當す。此の外獨逸人は第三國の貨物を露國に輸入し自國生產品を露國內に販賣し露國より自國及び第三國に輸出すると同時に、露國內に於ける諸般の有利事業に參加又は投資せり。露國の商業中心たる莫斯科に於ける紡績事業は獨逸人の手中に歸し米國產の棉花は多く獨逸ブレーメン港を經て露國に輸入せられ、千九百十三年に於て、露都稅關經由輸入せられたる米國產の棉花八五、五二八キープの內獨逸即ちブレーメン、ハンブルグ及びクエベックを經由したるもの四〇、一五六キープとす、又開戰前露國に於る銅の取引は主として獨逸商人の手に依つて行はれ染料工場は悉く獨逸人之を經營し染業の如き殆ん

は露人自ら之を經營したるも近年は獨逸商人の手に移りつゝあり。又建築材料、藥品、化學工業品、諸機械の取引の如き殆ど獨逸人の獨占業とも謂ふべく、千九百十四年度露國內電氣工業資本の內約百分の八十五は、獨逸人の出資及び獨逸人關係の出資に係れり。殊に東露領に供給せられたる食鹽、鐵及鋼鐵製品は主として獨逸品にして戰前黑龍江州及沿海州に於る商業の中樞は、多く獨逸商人の手中に掌握せられたり。夫のクンスト、アルベルス商會、ヨハン、ランゲリチエ商會等の獨逸商が浦潮其他東西伯利亞の諸地方に於ける商業界の覇をなせる亦故なきにあらざるなり。露國は又ホップ、豚毛、皮革、木材、羊毛、麻の產地なるが、此の種の取引は藥品、化學製品類と共に獨逸商人の手を經て行はるゝもの頗る多し。獨逸製造家又は商品販賣者は、商品賣買の爲毎年露國各地に巡回手代（コムミーボヤジエル）を派出して、註文を取らしめ其の代金決濟に就ては露國の商習慣に從ひ、短きは六箇月長きは一箇年後拂とし、農具、諸機械類に至りては二箇年乃至三箇年に亘る長期貸付にも應ずと云ふ。斯る狀態なるを以て、露國經濟界に於ける獨逸人の勢力は近年著しく增大し、今回の戰爭なかりしものとするも、今後十年間に優に平和の商戰に於て、露國市場を占領し露國をして自己の經濟的植民地たらしむるに至らんと云ふも强ち過言にあらざるべし。左れば開戰當時露國に於ける朝野の有識者は露國より獨逸人の勢力を根本的に驅逐するの必要を絕叫し、獨逸語不使用同盟、獨逸品不買同盟等を組織し、極力之が絕滅に努め今日に及べりと雖、其目的を達すること能はず、表面は兎に角裏面に於ては盛に獨逸品の輸入賣買行はれつゝあるを見るも亦其の勢力の恐るべきと其の根蒂の深きとに驚かざるべからず。

奉賀鷗外森博士　　店陽　横川德

戰苑文苑共功名。奏凱行經衣錦榮。方見栽詞同草檄。便知使筆似揮兵。楚騷餘韵創新體。萬葉遺風存古情。紙價洛陽來日貴。珠光劍氣卷中明。

賀鷗外博士新著、亦謂前一篇者乎。天地皆新、欲捨不捨

復原　河西健次

夢魂飛到故園梅。三月邊城人未回。莫是論臣遺詠意。東風千里送香來。

自註、北南有千里遠、大連得故

賦梅花香寄於復原博士　上中治

夢飛月瀨叶村梅。一炷家烟一忽開。天寒朔北花開未。先使誦香度海來。

…の收穫額に…米棉の價格は…に相當し昨年…

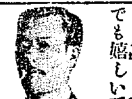
…し約二分增さいふに大體一致せる…或はそれ以下なるべしとの說た…

ナショナル　八二二　七〇〇
コンマーシャル　八七〇　七二七
ルアッピール　七九八　七一二

…農務局の豫想も七五、〇を下るべしとは思はれずといふ而して一九一四年度には千五百十三萬六千…の收穫額に…ざるべしといふ而して本年度は上…從つて供給の方面より見たる米棉市價の前途は更に昂進を期す可ら…

本紙定價　壹ヶ月七拾五錢・前金參ヶ月貳圓・六ヶ月四圓・壹ヶ年七圓五拾錢（郵稅共）
廣告料金　七號活字一行…
發行兼編輯人　奥山貞介
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社　電話…　振替…

◎どんな手紙でも僅か五分間で書ける
應用自在　手紙文庫
◎頭を痛めずに立派な手紙が即座に書ける
改訂增補　第十五版
◎空前の大著　今回完成せる新體美文手紙文庫は明治文壇の美文家川上眉山先生高足岩田鳥山先生が半生の心血を傾倒して完成せし苦心の大著にして全卷を春・夏・秋・冬・雜の五卷に別ち各卷を更に月別とし其月々に必要な用語類句、文例を漏なく集め、其數實に一千三百餘種に達し、悲しい手紙でも嬉しい手紙でも濃艷な手紙でも叙景の手紙でも感想文でも時候文でも其他婚禮、祝賀、弔慰、見舞、通知、誘引、照會、依頼、謝禮、催促、招待、訪問、兵事、學事、貸借、贈答文に至る迄本文庫さへあれば頭を痛めずに僅か五分間で思ふ通りの手紙が自由自在に書き得られ…
◎特價　本文庫は三六版六百頁の大冊で…一圓…
東京市青山南町六ノ一三五　振替東京三四八六番　手紙文庫刊行會



必讀　書翰文用語集　一冊無代進呈　此際先着注文者五百名に机上便覽添付

鑛山　賣買及投資仲介　大阪市土佐堀通　電話土佐堀一〇二七番　振替大阪一二八〇六番　鑛林社

◎藥劑師三名　但し多少商業に經驗を有する者又は商業希望者◎支店主任として招聘す◎保證金を要す　詳細は京日山支局へ照會あれ

最新刊
△印象記　山田秀作著　定價一、二〇
肥後の菊池氏　…著　一、八〇
◎根本佛教講話　…著　定價一、七〇
英和對照英語の手紙　…著　一、〇〇
新日本外史　大町桂月著　一、〇〇
逸話の泉　…著　一、五〇
◎天然生活法　…著　定價八十五錢
山川手紙辭典　…著　一、二〇
國民の道德と修養　…著　一、二〇
趣味の動物　…著　八〇
◎最新庭球術　定價四十錢
學力は文章から　…著　一、三〇
生命の不可思議　…著　一、二〇
動倹貯殖　…著　一、二〇
△世問學　定價九十錢
京城本町　大阪屋號　電話…　振替京城…
（本店）東京（同店）大連、旅順、鎭南浦、釜山

廣告

◎官營平壤無煙煉炭左ノ通價格改正販賣可仕候

地名	種類	大口扱（貨車買）	小口扱一噸以上	一箱（四斗入）半噸以下	特約店
京城龍山	第一種煉炭（三ツ穴）	一五、二七〇	一五、六七〇	七二〇	苦米地商店
	第二種煉炭（三ツ穴）	一一、四七〇	一三、六三〇	六三〇	
仁川	第一種煉炭（三ツ穴）	一五、三七〇	一五、九五〇	七三〇	三井物產會社仁川出張所
	第二種煉炭（三ツ穴）	一一、六七〇	一三、九六〇	六四〇	
平壤	第一種煉炭（三ツ穴）	一三、七四〇	一四、二七〇	六六〇	中村組
	第二種煉炭（三ツ穴）	一〇、〇四〇	一二、〇五〇	五六〇	
鎭南浦	第一種煉炭（三ツ穴）	一四、五九〇	一五、〇四〇	六九〇	中村組
	第二種煉炭（三ツ穴）	一〇、八九〇	一二、九三〇	六〇〇	
大田	第一種煉炭（三ツ穴）	一五、九〇〇	一六、四七〇	七五〇	大田合資會社
	第二種煉炭（三ツ穴）	一二、二〇〇	一四、五四〇	六七〇	
水原	第一種煉炭（三ツ穴）	一五、四五〇	一六、〇二〇	七三〇	中島商店
	第二種煉炭（三ツ穴）	一一、七五〇	一四、〇四〇	六五〇	
大邱	第一種煉炭（三ツ穴）	一六、四二〇	一六、九六〇	七七〇	三ケ尻商店
	第二種煉炭（三ツ穴）	一二、七二〇	一五、〇九〇	六九〇	
元山	第一種煉炭（三ツ穴）	一六、〇八〇	一六、六四〇	七五〇	吉田商會
	第二種煉炭（三ツ穴）	一二、三八〇	一四、七三〇	六七〇	

○小口扱及箱賣ハ持込ミ値段トス數量ハ御改メ御受取被下度候
○目下貨車廻惡シキ爲メ思フ樣ニ御注文ニ應ジ兼ネ候ヘドモ全力ヲ注イデ貴需ニ應ジ申候
○右價格ハ平壤鑛業所御指定値段ニ就キ右以上ニ販賣セシ特約店小賣店有之候節ハ三井物產株式會社京城支店ヘ御申越被下度候

一手販賣　京城黃金町　三井物產株式會社京城支店（電話六、〇〇七番）

開城以南特約店　京城古市町一四　苦米地商店（電話九四一〇、三一〇八番）

開城以北特約店　平壤、鎭南浦　中村組（電話平壤五〇一番南浦一〇七）

製造元　日本夏帽株式會社

米國製特殊創案　正十四金ペン
自働インキ含裝置『パインビジネス』ペン
定價金壹圓九十五錢
進步的經濟的文房具の需要に加はり平常使用の『ペン』先に金製のものを使用するの最も適切なるは言を俟たず、而して此の金『ペン』先を裝する軸エボナイト製に到りては唯あるのみ倘裝置せし『ペン』の背後に密接する『パインビジネス』ペン
耐久力が期せらるゝのみならず一度『インキ』を含ますれば宜く數頁の使用に耐ゆる頗る理想的の高等文具にして各銀行、會社、官廳より陸續たり御用
賣捌元　京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社代理部

米大西洋諸港閉鎖
獨逸潛航艇來襲防禦の爲め

十五隻の船舶大西洋にて撃沈されたりとの報あり右は米軍の佛國輸送を妨害せんとする敵潛航艇の存在を示すものにて紐育及び其他の諸港は是等獨逸潛航艇來襲に對し防禦の爲め閉鎖されたり（紐育電報）

米國の看護婦募集

米國陸海軍は十日間以内に熟練せる看護婦一萬五千人を募集せんとし此旨全國の赤十字社に通電依頼せり（華盛頓電報）

墺軍事管理權委任

米國々務省は獨墺軍事協約の本文を入手したるが右に據れば墺國は平時に於いても軍事管理權を獨逸に委任するものにしてツエツク、猶太、スラブ族等の政治的獨立は絶望となる可し（華盛頓電報）

露紙勞農政府攻撃

露字新聞は勞農政府が廣大なる土地を獨逸に與へ作ら日本が浦鹽斯德又は勘察加を併合せんとする野心ありと誇大に流布せる矛盾を攻撃し且つ日支兩國の出兵は友誼的好意なりとして歡迎の意を表せり（哈爾賓特電）

各國領事團抗議提出

各國領事團は陳炯明の軍隊が外人に對し公債を押賣り家賃の不法徴收を爲し兵士を商店に闖入せしめ家財を掠奪せしむる等の如き行爲ありたる爲め嚴重なる抗議を提出せり（北京特電）

曹督軍引揚と一說

曹錕督軍の歸北に關し其裏面には長江筋の三督軍と共に平和宣言を爲し段内閣を交迭せしめんとするものなりとの說あり（天津特電）

阪谷芳郎男 顧問略定

支那政府は阪谷男を幣制改革顧問に傭聘す可く共旨正式に申込み詳細の條件は日本公使館と財政總長との間に協議進行中なるが大體の協議は纏りたりと（北京特電）

秘密結社取締嚴達

内務總長錢能訓氏は各省に通達して曰く『奉天督軍の報告に據れば最近沙河にて朝鮮人の不穩なる秘密結社を組織せる事發覺し同地警察は是れを禁止せしが是等の結社各地に蔓延せば社會の安寧を害するのみならず日支國交を害するより各省嚴重に取締られ度し』（北京特電）

江監督出發期

支那留學生監督江庸氏は九日北京出發の筈なり（北京特電）

定例閣議

四日定例閣議に於て東賓局長官嘉納德三郎氏の朝鮮銀行副總裁就任の件提出されたり（東京特電）

三宅博士通過

鮮滿視察中の三宅雪嶺學博士は四日午前十時半安東を通過し奉天に向け直行せり（安東特電）

露國援助協議

……が新機關をなしたる事實なく唯[illegible]熱れども急に右[illegible]方針の決定見を偶むるに困難なる事情あり[illegible]
……曰く昨今四川湖南方面より歸來せる某氏の談に[illegible]
……り難き形勢にして必ずしも持續せ[illegible]ざるは支那の現局なるが[illegible]
……動著々步を進め未だ發表せられ[illegible]
……ず同地にて漢冶鐵鑛に使用するコンクリート船の建造計畫中なりと[illegible]
……の學生歸國せるを非難も直に日本に復校して政治に就ては喙を容[illegible]

國澤理事長南下

國澤滿鐵理事長は五日午後六時半安東發列車にて京城へ向ふ筈（安東特電）

中村鮮銀庶務局長

支那方面視察旅行中なりし鮮銀庶務局長中村光吉氏は五日午前七時半安東通過歸任の筈（安東特電）

今村財務官歸任

今村駐鮮財務官は四日朝東京より下關へ著山陽ホテルに一泊の上五日朝渡鮮哈爾賓に向け出發の筈（門司特電）

金谷大佐動靜

金谷大佐は四日午前十時半安東發列車にて奉天へ直行せるが九日前田侍從と共に引返へし五龍背に一泊歸任の豫定なり（安東特電）

總督總監臨席

長谷川總督山縣政務總監は六日午前九時東洋協會京城專門學校開校式に臨席すべし

手形引上高

朝鮮銀行の朝鮮に於ける小額手形の引上は漸次進捗し居れるが三日迄の分約十三萬圓にして尚朝鮮内の拂出高は五十二萬圓を算する由なり

京畿道新繭

京畿道警察部、里産繭一貫目三日前山繭絲商行にて七十五掛にて手合せ行はれたり

床次政友會總務（向つて右）と瀧代議士（四日夜南大門驛にて）

文字通り見物して來た
意見を問ひもせず進むで說きもせず
政友會總務 床次竹二郎氏談

支那を視察して歸東の途に在る床次竹二郎氏を京義線汗浦驛に迎ふ氏の車中談に曰く

上海に上陸して南京、大冶、漢口を廻つて北京に到り、天津から濟南を經て青島を觀察し、復た濟南天津と來し路を逆に北京に還つて京奉線に依り奉天に出た、之れで吾輩の視察の日程は終つたのだ、此行、出發に際して吾輩が何か

◆**特別の使命** を帶むで居るかのやうに新聞で諜報を傳へたが、アレは根も葉も無いことだ、吾輩は唯支那を見に行たのだ、夫れで見る丈けは大に勉強してプログラム通りにやつた但し見聞は克く消化して了つたので今更ら吐き出せと云はれては困る、南北の妥協か、アレは急には纏まるまいよ林公使には南京で會つて北京に著いたら公使館に泊まれといふことであつたから

◆**留守の間に** 泊り込むで居たが、公使が南北調停の爲めに南方に出懸けて行つたといふのは嘘だ、南北の有力者にも會つたが、先方から何か意見を述ぶれば聽きもし、又問はるれば答へもした、併し吾輩から進むで問ひもせず說きもしなかつた、吾輩は初めて會つた人に對して其人の衷心の抱懐を披瀝して貰へるものとは信じて居ない、吾輩自身も亦

◆**初對面の人** に腹藏なき意見をサラケ出して聞かせ[illegible]好いか悪るいか考へものだと思つて居る、尤も顏だけは見識つて居く必要がある、若し何か事の起つた場合に、彼の人が働うい事を爲るのかナ、と思合せるのに都合が好い、御人體は大概初對面でも分るものだからね、怎ういふ次第で今度は三十三ケ所の札所巡りをやつた樣なものサ、本尊が口を利かないでも不足は云へないのだが、物は云へないのだから生きた人々だから活佛を拜むで來たとでも言つて置くかナ、御利益は後日のことさ、活佛と云へば

◆**大谷光瑞師** には奉天でお目にかゝつた、態々大連から出向いて呉られたので甚だ恐縮したよ、一寸用談を濟まして直ぐ大連へ歸へられた、師は實に豪い立派な人だね、支那に於ける日本人の狀況かね、中々盛んだ、業態に依つて南支那、北支那、孰れへでも發展すべしだ、長江の流域は英國の繩張りの樣に信じて居る者があれば其人は思違ひをして居るのだ紡績業も至極有望だと聞いた何でも元日支合辦事業であつた上海の紡績工場が

◆**三井の手に** 移つて、此頃第三工場とやらを建て、居たが最新式の機械を備付けるのださうで、機械の一部が未だ到著しないといふことだつた、大冶の鑛山も見た、青島の工業も盛んだ此次の旅行には餘り見る方に熱中した爲めにガラ空きの學校を見たなどは好い土産だらう、吾輩は北京に著いた日に

◆**大學參觀に** 行つたが生徒が一人も居ない、何うしたのかと聞くと例の軍事協約の訛傳に取り逆上せた學生全部總督府に押懸けて行つた後、職員が善後策に就て鳩首凝議の眞最中であつた、だから何も彼も見物して來たのだが自分としては旅行の目的を充分に達したと思つて居る哈々

加奈陀爲替不利

爲替相場の關係上日本貨幣に對し米國及び加奈陀貨幣の下落に伴ひ右兩國振出の郵便爲替に對する本邦拂渡額も漸次に減じ來りたる所最近に於ては殊に加奈陀貨幣の下落甚しく從來に比し大に拂渡額を減少し百弗の送金に加奈陀來爲替は米國來爲替に比し二圓乃至四圓方小額となりしに付爲替被仕向者は一般に知了せられたしと當局者は語れり

內地行滯貨現況

滿鐵京城管理局調査五月三十一日午後六時現在內地行滯貨を見るに本州行二萬一千八百六十八噸九州行二千五百十四噸合計二萬四千三百八十二噸にして之を前旬に比し二千七百五十八噸の增加を示したるが此は二千噸以上の大口申込ありたるに因るものにして右滯貨の內仁川の約三千二百噸最も多く南大門の三千百二十噸鎭南浦の二千七百六十五噸之に亞げり而して品種としては前旬同樣大豆八分通りを占め米雜穀之に亞ぐ其の內譯左の如し

各驛滯貨	本州行	九州行
一月中申込のもの	八八	〇
二月中同	五二三九	〇
三月中同	二七〇七	〇
四月中同	二三九八	〇
五月中同	六三七七	八八五
小計	一六八〇九	八八五
釜山棧橋滯貨	四三二二	一〇九三
線內輸送中のもの	七三七	五三六
合計	二一八六八	二五一四

而して關釜間及び山陽線輸送力は從前の通なるも下關以東中管內行貨物荷閊の爲五月二十五日より未日迄同管內行積取を停止し九州行は門司に於て荷閊の爲五月三十一日より六月三日迄積取停止せりと

東洋協會專門學校開校式

京城大和町東洋協會植民專門學校は從來東京本校の分校として東京にて二學年を修めたる學生中朝鮮を希望するものを移し之れに一箇年間教育を施し來れるが開校以來卒業生を出したること既に三百二十八人に及べり而して朝鮮にて內地學生に對し此の種法律經濟及び語學等を授け當面の急需に應ぜしむ可き學校は他に存せざるが故に官廳又は會社銀行金融組合等に歡迎せられ需要益々增加の機運に在るを以て先般來擴張の議起り從來の分校を改めて獨立の組織となし名稱を東洋協會京城專門學校とし三學年を設くることとなり本年は新に初學年生五十名募集收容し外に東京より移る三學年生十六名あり明年は更に初學年生數十名を募集し三學年となる可し依て六日午前九時同校に於て開校式を擧行すべく當日は官民二百餘名を招待す可し尚同校目下の校舍は狹隘なるに依り地を北部に相し近く校舍の新築に着手し明年を期し竣工移轉す可しと

越後丸就航期

朝鮮郵船にて傭船契約を締結せる北海道內田汽船會社所有船越後丸（一千百三十噸）は本月七日神戶出帆愈々北鮮阪神間航路に就くこととなれり

鮮銀株騰

朝鮮銀行株式は既報の如く增資見込みにより買氣強く騰騰の狀勢にて東京大阪兩市場にては二日百八十三圓の新記錄を作れり

羽田造船株取扱

東京に於て資本金百五十萬圓を以て創設せる株式會社羽田造船所にては今回三萬株の內三千株を公募に附する事とし朝鮮にては京城銀行其の取扱をなす由にて去る三日より申込を受けつゝあり十二日に締切るとの事なれば希望者は至急同行に申込まるべしと尚申込書定款目論見書等は同行にて配附する由

床次總務入京

支那視察中なりし政友會總務床次竹二郎氏及び同黨所屬代議士瀧正雄兩氏は四日夜東大門驛著列車にて入京美濃部鮮銀總裁、久保滿鐵理事、澤田、遠藤兩課長其他の出迎を受け朝鮮ホテルに入り氏は京城通過南行の筈なりしも開城に出迎へたる牧山、岡田兩代議士並に管內巡視の爲め開城に出張し歸京の車中偶然邂逅したる松永京畿道長官等より京城下車を勸められ豫定を變更して一泊すると成れり

國澤理事長 來期

滿鐵理事長國澤新兵衞氏は來る二十二日東京に於て開催すべき滿鐵定時株主總會列席の爲め上田秘書役同伴四日大連出發東上の途六日朝南大門驛著列車にて入京すと

床次氏仁川視察

入京せる床次、瀧兩代議士は五日早朝長谷川總督、山縣政務總監を訪ひ入京の挨拶をなしたる上自動車にて仁川に赴き築港を視察し午後川時過ぎ歸京牧山代議士宅にて晩餐を取り七時五十分發列車にて南行六日東萊溫泉に浴し同夜出航の連絡船にて歸東の豫定なるが岡田、牧山兩代議士も東萊迄同行すべしと因に床次氏は長途の旅行に疲れたるため歡迎會等は一切謝絕する由

東拓金堤所長

東拓參事佐瀨直衞氏は一日附同社金堤出張所長を命ぜられたり

河井氏出發期

百三十銀行京城支店長より支店營業部副長に轉せし河井松之助氏は五日午後七時五十分南大門驛發列車にて出發すと

京橋驛貨物取扱廢止

鐵道院大阪東成、城東線京橋停車場に於ては從來一車積貨物の取扱を爲せしも五月三十一日限り其取扱を廢止したる旨滿鐵京管局に通知ありたり

大阪より
鐵商店整理經過

大阪東區淡路町四丁目鐵商店整理に就ては此程來大阪の各債權者個々に陳情し一方京城の貿易商某氏は同地の債權者を代表來阪し親戚關係筋某氏共會見內容の調査及び善後策を協議中なるが萬一整理の場合は彼我共に多大の影響を蒙るのみならず急激なる處置をなすは相互に不利益なるを以て市中取組品に對し運用解合をなし受渡を保留し一方京城其他の手形關係を九月末迄延期し本人の自動整理に任せ債權者より適當なる監督を置き徐ろに整理の實を擧げ利權回收を行ふ方得策なるべしとの意見あり京城の某氏も其意を諒とし同地債權者と協議を遂ぐるに至るべし大阪債權者間にも未だ意見纏り居らざるも取引に係るモスリン及び綿布共市價恢復の曙光なきにしも非ずかたがた叙上の案を以て圓滑なる解決を告ぐる外道なかるべし因に京城の主なる債權者は十數軒にして大阪は昔上商店、美津和商店、河瀨芳三郎、福井好七、野呂克三、中野長兵衞、阿部市、齋內商店、伊藤長商店、瀨尾商店、伊忠商店、瀨尾秀商店、和田保、高橋幸三、倉野商店、板倉平吉、芝川商店、前川彌助商店其他にして値合せ總計四十萬五千圓資產負債差引六十萬圓內外の不足ありと（大阪）

不二農場竣工式祝詞
金陵 大垣丈夫

信地山頭放雨晴。水源滾々見長流。文明施設極雄大。不二農場冠八州。
[illegible]

夜行車中卽事 同

徹宵交話自和親。窓裏甚杯興有神。幾處驛燈明復滅。鐵車衝雨到江濱。
[illegible]

寫眞術 獨習者無二の好指南 一高尚の職業 優美の娛樂
寫眞術速成講義錄
此際入會者は入會金全免其他種々の大特典あり見本付會則申込次第進呈
好機逸する勿れ 東京牛込區 振替東京二三五八四番 大日本寫眞學會

◉松田式 灌漑及排水用ポンプ
一、鑛山用 二、田園用 家庭用
手押、足踏、タービン各種
昨年は需用期に入りて御注文多かりしため品切れとなり御用を辨し得ざりし苦き經驗有之候に付本年は時日に餘裕ある今日豫め御用命被下度候
特約店 京城府本町二丁目 和洋金物商 釘本藤次郎本店 電話長五五 二七七四番 振替口座京城二五六番

登錄商標
漸々縞シャツノシーズントナリマシタ!!
柄ノ精巧ト地質ノ完全ナ蝶矢印ガ今年ノ流行ト定リマシタ。
朱子入マドラス ゼファーシャツ
大阪 東京 潮谷商會

石材値上謹告
諸物價騰貴ニ付爾今現相場ヨリ壹割値上候也
京城石材採取同業者一同

◉明光ランプ
特色
一、火炎の心配なき事
二、石油經濟なる事
三、使用輕便なる事
四、電氣代用となる事
五、體裁のよき事
▼詳細說明書御申越次第進呈可仕候
普通製 金一圓五十錢 眞鍮製 金二圓五十錢
販賣店歡迎
東京市本鄕區湯島天神町二丁目十三番地
製造發賣元 明光ランプ合資會社 電話下谷七二七二甲 振替東京三六八三九番

◉病院開設
內科 外科 小兒科 花柳病 皮膚病
京城本町四丁目（元金井眼科醫院跡）
內田病院 院長 內田熊治 電話三一六番

寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版 京城日報社寫眞製版部

金銀製作 時計販賣 本町 [illegible]

京日案內
▲普通一回前金十錢 番外一回前金[illegible]
▲申込後の取消中止の節は料金不返
▲六回以上の御申込は特に割引
▲御照會は返信附にあらざれば[illegible]

普通
融通 月收の御方へ極秘迅速立替御報同上候 大和町三ノ三二（柄澤前）起木

◉年齡三十五歲以上裁縫の出來る者至急入用 新町 君の[illegible]

配達人 至急入用希望者は履歷書携帶本人來談あれ 黃金町二丁目 京城新聞

◉乳母入用 但御預け致してもし（電話六九八番） 太平通り二ノ四五 更科支店

生後二十日男子にして血統正しく壯健なる者愛兒の方に遣りたし（姓名在社）

番外
黑船用晃錦綢 質流破格安價提供 京城明治町二 片山質店（電話二六五二番）

◉雇入 年齡卅歲前後 特參あれ確實なる保證人を要す 櫻井町 丁目 新田貸家部

◉勸業債券特價買入 多少に不拘債券擔保にて低利融通致升 京城太平通一ノ一三 電二七九三番 [illegible]

◉地方支部出張所代理店 日本勸業銀行債券取扱 京城水下町六五 電話一三〇 日本貯蓄株式會社 外務員

◉玩具ゴム 實用ゴム各品卸 定價無料進呈 夏向品 京城太平通二 電話二六〇六 大陽ゴム商會

◉締切 朝鮮藥學校入學志願者は六月五日迄に願書提出せらるべし詳細は事務所（新井藥房）にて受附の際指示す 朝鮮藥學校設立事務所

店員入用 年齡十七八歲より廿五歲迄のもの確實なる保證人を要す 京城本町五丁目四十八番地 食料品 峯岸商店

求婚 良家の處女年齡二十一初婚容姿普通高女卒業裁縫及家政等十分熟達せる者に嫁したし照會は平壤局へ

▲果實酒 ▲燒酎 ▲果實蜜 ▲味淋 賣出し 京城若草町 電話二七一四番 明神組商會

輕便鐵道終點价川驛より平北江界行乘合馬車開始 ▲平南軍隅里（价川驛前） 安滿運輸商會

年金恩給 最長期即時 利極安前借 ▲四年半迄保險不要 ▲京城永樂町 商品陳列館前 江州屋本店

米國に對し[illegible]を報じたりと雖ふ[illegible]の必要[illegible]
[illegible]所に依れば米國[illegible]を進捗せしめ居るは事實なり[illegible]あるが如きも亦は聯合國全體の意

◎珍らしい皆既日蝕（下）

見る位置によつて蝕の時刻や狀態が違ふ、京城では何う見ゆる 明治廿年の皆既蝕と山縣公

―東京は梁が見ゆる程暗くなつた―

前に今度の皆既蝕は、我國では鳥島が最もよく觀望し得られ其他の土地では完全な皆既蝕を見ることは出來ぬと云ふことを云つたが之れその見る位置が異ふからである語を換へて言へば鳥島を除く各地から見られるのは部分蝕と云ふことになるが

◆この部分蝕 も亦位置の相違で東京と京城では蝕の時刻狀態等に非常なる差異がある詳しいことは別表に譲るとして京城仁川では何時頃ドンナ風に見られるかと云ふと食甚と云つて蝕の頂上が午前五時四十分此時刻になると太陽面が七分二厘迄暗になり六時卅九分に至つて全く復圓すると云ふから食甚の時には恰度太陽が

◆三日月の樣 に見ゆる譯である從つて一時下界は多少暗黒になるであらうが斯麼ことは皆既蝕の時でないと到底見られぬ珍らしい現象なのであるから一般の人々も後學の爲めによく見ておくが好い一體この皆既日蝕と云ふものは屢々起る現象ではなく又同一地點に於て居ながらにして之を見ると云ふことは期待出來ないそれで天文學上

◆皆既蝕と各地 九日の皆既日蝕は鳥島が最も好く觀察され其他の各地は部分蝕である今之を表示すると

地名	日出時刻（分）	食甚時刻（分）	食分（厘）	復圓時刻（分）
東京	―	五、四〇	八八	六、四一
札幌	―	五、五〇	七五	六、五〇
鳥島	―	五、三四	一、〇〇	六、三四
長崎	―	五、三九	八五	六、三五
京城	五、一〇	五、四五	七二	六、三九
平壤	同上	五、四七	六八	六、四〇
釜山	五、〇九	五、四二	七八	六、三七
元山	五、二〇	五、四七	六九	六、四一

（備考 時刻は何れも午前）

◆非常に重要 なものとなつてゐるが我國の皆既日蝕は極めて少なく明治二十年の八月十九日に銚子、白河、越後等で見られたのが我國では天文學上の記録に載つた抑もの始めである時の內相山縣公爵は其觀測は國家的の事業であると云ふので皆既蝕の日時皆既蝕に伴ふ諸現象などを官報に掲載して一般に注意を與へ同時に

◆自ら望遠鏡 を擔いで銚子まで觀測に出懸けたことがある當時米國からも遙々多數の天文學者が渡米したが之は我政府の好意により白河で觀測することとなり別に內務省地理局の一隊は越後國永明寺山に出張して觀測に從事したが當日白河は雨天、銚子は天候不良の爲め何れも失敗し單り永明寺山に出張した一隊だけは充分なる觀測を遂げることが出來た、この日東京では食分九分九厘に達し

◆肉眼で星が 見ゆる程暗くなつた相である次は明治二十九年八月九日北海道と西伯利で見られたがこの時も亦米國から觀測隊が來るなど大騷ぎであつた（高島京城測候所長談）

◇英國皇帝に御祝電

天皇陛下には三日大英國皇帝陛下御誕辰日に就き御祝電を發せられたり（東京特電）

◎米大統領夫人の羊飼ひ

◇夫君を助けて日夜の活動 少女義勇軍の幹部

米國大統領夫人の戰時に於ける華々しい活動振は夫君ウヰルソン氏と共に均しく全米國民の崇敬的となつてゐる最近に於ける夫人の關係せる協會及び組合は非常に多數に上つて最も

▼▲多忙な身 であり乍ら自ら米國赤十字社や臨時軍用被服局や女子基督青年會や少女義勇軍國民食料調査局その他の公共團體に幹部として親しく臨まれて鋭意事業の發展に畫策してゐられる而して夫君を助けて米國の政治を凡ての階級に徹底せしめようとの

▼▲高い理想 から殆ど一平民の如く全く鹿爪らしい形式から放れて有ゆる機關を善用されて國事に沒頭され時に演說を試み或は雜誌新聞紙上に雄々しい愛國の熱情を以て滿たされた文字を寄せられる殊に一週に二回は必ずコールアンドポスト紙上に平易なる語を以て極めて熱烈なる愛國の至情を敍べらるるの一事は實に

▼▲戰時に於 ける米人の最も力強く感ずる所で時には夫君大統領や子息と共に劇場などにまで出懸けられ親しく民衆と平民的な歡樂を共にしてゐられる亦尚嘆賞すべきこととしては身は白館の主婦でありながら最も質素なる生活をされ普通市民と異る贅澤な衣裳を著くるが如きはウヰルソン夫人には嘗て見受けられないことである此の程も

▼▲白館の芝 生に羊を放ち其の羊毛は剪み取つて赤十字社の費用に充つべく競賣に附せられたるなどは寔に夫人の活動を物語る床しい美しい一個のエピソードとして國民の記憶してゐる處である（大阪）

◎第二長崎丸坐礁 全南沖にて

第二長崎丸（六百三噸）は大連より貨物を積載して長崎へ歸航の途中全南莞島郡市吉島西沖合に於て坐礁し積荷を海中に投棄中なりとの旨無線電信にて通知あり木浦より救助の爲め扇海丸遭難地に向け出動せり（木浦特電）

◎所謂紳士の體操に就いて（四）

―簡單容易な强健運動―

◇淑女にも應用す可し◇

九州帝國大學醫科大學教授 醫學博士 櫻井恒次郎

◇生活と運動

◇抑々人體の部分を動かすには、骨と筋とが必要で有るので委しき事は後章に述べるが、筋の働作は收縮で有る即ち筋が働くとは之れが縮むことである。處で筋が收縮すると、其の附著して居る處の骨が移動する、之れに由つて人體の部分が動くので有るが

◇扨人間の體には筋や骨の外に、未だ澤山の臟器が有つて、之れ等が皆夫れ〳〵獨特の機能を營んで居る。既に述べた如く、人間の生活現象と云ふは、取りも直さず之れ等諸臟器の機能、即ち生活現象の集つたものを云ふので有つて、之れ等臟器の機能は共に共に相携して始めて營み得るので

◇不幸にして之れ等諸臟器の一つが、其機能を停止したりとすれば、忽ち全體の生活現象に大なる狂ひが起つて來るのである。從つて生活現象の健全なる爲めには、各臟器が皆健全で有つて、其の機能を完全に營むと云ふことが必要なる條件である。今茲に人體諸臟器に就いて一例を擧げんに、既に述べたる如く

◇人體の部分を動すには骨と筋とが働くのであるが、筋は決して單獨では働く事が出來ないので、筋の働く爲めには、必ず一定の刺戟が必要である。此刺戟は腦髓に起り、神經を傳はりて筋に達するので、從つて身體の部分の動く爲めには、骨と筋とが必要で有るのみならず、腦髓も神經も必要で有る。

◇處で筋にせよ、神經にせよ、腦髓にせよ、働く爲めには一定の原動力、即ち養分が必要で有る。此養分は血液に依つて供給さるゝのであるが、此血液の所要の養分を供給する爲めには、血液循環が必要である。

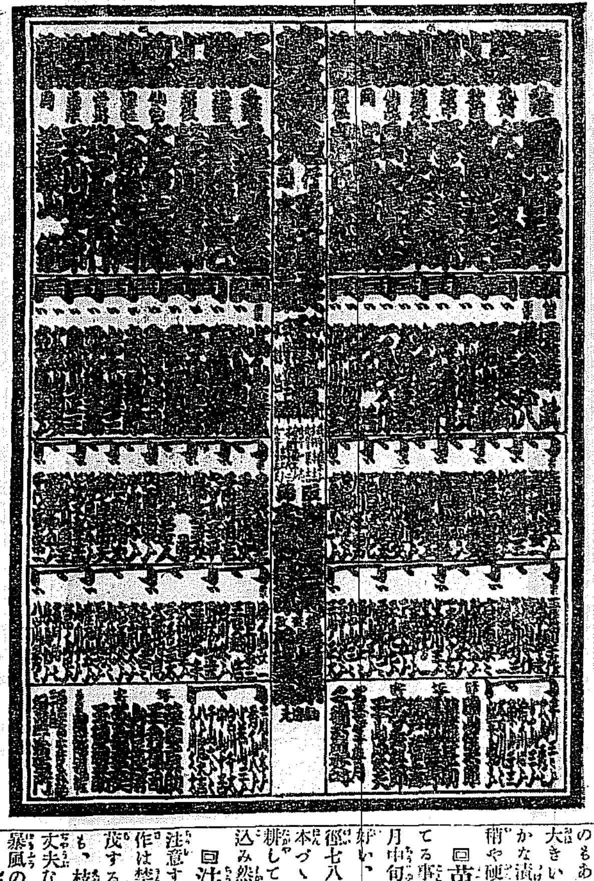
◇處で血液循環は心臟の働作に依て起り、之に依つて血液が心臟を出で、動脈を經て毛細管に達し、茲で組織に養分を與へ、其不用分を採取して靜脈血となり靜脈を傳はつて、再び心臟に歸るので有るから、斯く數へ來れば、前に述べた身體の一部を動かすと云ふ働作に對して働くのは骨と筋と神經と腦髓の外に、尚ほ血液、心臟、血管等が働くので有る。

◇尚調べて見ると、一旦心臟に歸つた靜脈血は、再び心臟を出でゝ肺に達し、茲で肺に吸ひ込んだ空氣から酸素を取り、同時に靜脈血中に含まれて居る炭酸を放つて、再び動脈血となり、心臟に歸るので有つて此現象を小循環と云つて居る

◇處で血液中の養分は唯酸素ばかりではなく、色々のものが含まれて居るので之れ等は總て採取した食物から腸に於て吸收せらるゝ爲めに、腸に達するには先づ齒に依つて咀嚼せられ、唾液と混じて後ち、嚥下せられて胃に達し

◇茲に胃液の作用に依つて消化せられて、吸收せられ易き狀態となり、初めて腸に達するので有るから、上述の呼吸、吸收等の目的を達する爲めには、肺が必要であり、氣管が必要であり、喉頭が必要であり咽頭が必要であり、鼻腔が必要であり、鼻孔が必要であり、胃が必要であり食道、口腔、舌、唾液腺等が必要である。

◇未だ其れ許りで無く、腸で吸收された殘りの食物は直腸を經て肛門より排出されるのであるから、一擧手一投足の如き、單簡なる身體の運動にも亦、骨や筋の外に非常に澤山の臟器が働くと云ふことは、お分りになつたと思ひますので專門的なことは省いておきます。



◎漢口歸客談

[illegible]宜昌長沙方面は北軍の手中にあるにて[illegible]現今の方が寧ろ安全なり[illegible]漢口方面に於ては日本人の活[illegible]なるも決して恐るべきものにあら[illegible]ろが一部智識階級の支那人は今次[illegible]

◎誤つて轢死

四日午後零時半釜山發北行列車が草梁驛を發し機關庫前に差蒐りたる時線路內に遊び居たる水晶洞の朴安根（六）は逃げ損ひて轢死したり（釜山特電）

◎救はんとして即死す

四日午後二時二十分釜山發南行列車が內舘踏切に差蒐らんとする際二名の子供通過せんとするより警報の汽笛を鳴らしたるも立去らず折柄通行中の鮮人水晶洞金榮燦の妹福南（四）は之れを救はんとして列車に跳ね飛ばされ劇しく前頭部を打付け腦震盪を起して即死せるが二名の鮮童は幸ひにも輕傷なりき（釜山特電）

◎線路に寢て居て 二鮮人轢死 价川輕鐵の慘事

平安南道价川地方の鮮人は夏になると家の中で寢ずに往來へ出て大道へごろ〳〵寢るが、爰に平南价川郡外西面新松里、李泰云（十）金貞俊（三）の二人は此程の夜も更け渡つた午前一時頃同地の輕鐵線路に莚を敷いてモウ輕鐵も來ないだらうと軌條を枕に熟睡した所が其後輕鐵の機關車が走つて來たので飛起る間もなく二人とも到頭轢殺されて了つたさうだ（平壤）

◎三浪津暴風

三日午後一時二十分頃より二時頃迄三浪津附近に大暴風雨起り直徑五分大の降雹さへありて家屋の倒壞せるもの十戶、半壞せるもの四戶に及び其の他屋根瓦の墜落等多く殊に同地方にて主要產物と目せらるゝ菓果の如きは殆んど收穫の見込なかるべしと（三浪津電報）

◎鳳一行來鮮期 十五日午前釜山上陸の豫定

鳳千葉ヶ崎一行の東京大角力滿洲巡業組は來る十三日東京出發十五日釜山午前九時上陸同十六日より興行の豫定なるが朝鮮滿洲の巡業日取は左の如くにして京城興行は本月下旬或は七月上旬となるべし

釜山（三日間）大邱（二日間）大田（二日間）群山（二日間）京城（五日間）平壤（二日間）元山（二日間）仁川（二日間）鎭南浦（二日間）安東（二日間）奉天（三日間）長春（二日間）大連（五日間）旅順（二日間）營口（一日間）

◎故阿部氏遺骸出發

桑港に於て客死せる故阿部讓氏の遺骸は其後茶毘に附し本月一日桑港發の春洋丸にて遺骨を送れる旨鮮銀本店に通報ありたり

◎亭主置去らる

長崎縣壹岐郡香椎村當時黃海道黃州郡松林面系浦里淸水組の配下長島萬作の妻長島かの（三）は五月十九日夜附近の與貫某方に行くと稱して弟の養雄と四歲なる男兒を背負ひたる儘家出して行方不明となれり爲めに萬作は百方搜索せしも見當らず取調べの結果かのは情夫なる福岡縣大牟田生れの塚本唯次と手を携へて逃走したる形跡あり萬作は各警察に搜査方を願出でたり

≡茄子の栽培≡ 家庭的

鉢の中でも三坪の庭でも 紫色の實を結ぶ

一般の家庭向として適當な蔬菜と云へば第一に需要の多いものでなければならぬ、次には栽培が簡易で、誰にも作れる物でなければならぬ、此意味から季節の物を選擇すると、第一に指を屈するのは茄子の栽培である

回品種彩多 即ち其品種は非常に多くして札幌、千成、晩出茄子、晩丸茄子の如く澤山に生るのもあれば支那大圓の如く優れて大きいものもあり又小形で皮の軟かな漬物向もあれば、大形で肉の稍や硬い煮食向のものもある

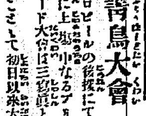
回苗の植付 之を種から育てる事は中々容易でないから、五月中旬苗賣から苗を求めて植るが好い、成るべく肥沃なる畑土を、徑七八寸の鉢に盛り、一鉢に一二本づゝ植込む或は園圃の一部分を耕して、人糞油粕米糠木灰等を鋤込み然る後畔を設けて植ても好い

回注意事項 茄子を作るに注意す可き事は乾き過ぎ濕過ぎの連作は禁物である、又枝を分つて繁茂するが、其際には心を摘まずとも、枝端を摘去れば良い、それに丈夫な竹を立て枝を括付け、豫め暴風の害に備へる事も必要である

回追肥の要 苗を植込んでから五六日後に、油粕または米糠人糞の如きものを施すべく其後も追肥を怠らぬ時は、色澤の美しい實が稔られる、そして早生は六月末から晩は七月中旬から、累々たる收穫を見る事が出來る

◎電車事故

四日午前十時頃南大門外に於て電車ポールにて電柱より突出せる電線支持柱を折りたる爲約二十分の停車を爲せり



▲青鳥大會 サッポロビールの後援にて有樂館に上場中なるブリユーバード大會は三四日とも[illegible]優秀のものゝみのことゝて初日以來大入滿員の盛況を續け居れり

▲歌劇協會 元帝國劇場の洋劇部にありし南部邦彥の率ゐる東京歌劇協會一行は四日朝の釜山より京城に來り五日より壽座に開演すべくその第一回藝題は第一、二人軍曹、第二喜歌劇二夫婦、第三歌劇まぼろし、第四喜劇出來ない相談等なり

▲黃金館 ミラの秘密續篇大正家傑毛谷村六助の新派劇色のみだれ等にて開演中なるが評判よし

▲大正館 天下の糸平の新派劇松江が共に大好評にて初日以來大入りを續け居れり

▲浪花館 九十九男、虎若、辰右衛門三名の浪花節にて開演中なり

東京帝國劇場分派 日本歌劇協會一行

公演種目

▲飜譯劇 二人軍曹 全四場
▲喜歌劇 二夫婦 全一場
▲歌劇 まぼろし 全一場
▲女優喜劇 出來ない相談 全二場

六月五日 毎日後五時開演 壽座 電話五七八番

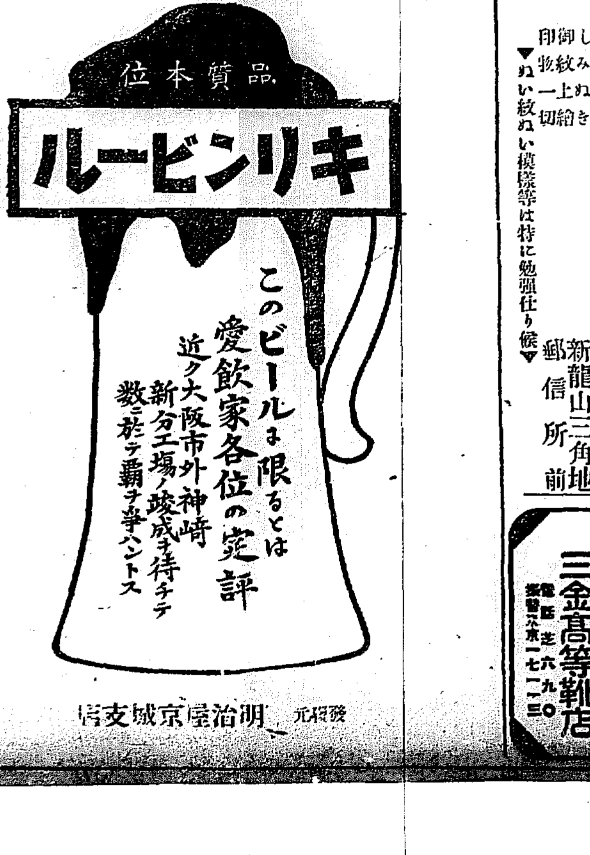
必ず讀落給ふな

拜啓 時下初夏新綠の候益々御清祥奉賀候扨弊店儀昨年五月左記の場所に於て出張所開設致候處日尚淺きにも不拘日增に隆盛に趣き候段全く各位の御同情御引立の賜と深く感銘能在候
今回開業一週年に相當するを以て平素の御愛顧に酬ゆる爲聊か自祝の意を表し左記染物に限り大特價割引を以て御用命に可應候得ば陸續御下命の程御願上候
●今回の割引直段は京都染元直段より以上の安價に御座候
●割引期間後は平日直段の參割五拾錢申受候何卒此機を逸せず速かに御用命の程奉待候
▲京染見本數種取揃へ居候間御報次第參上御高覽に可供候
●地方は便宜特に見本御送附申上候

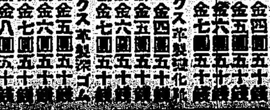
『名にしあふ都の水の清ければむべ染上げの色さへて濃きと淡きは好みに應じ花鳥草木の彩色は唯其まゝの寫生にて今樣なりや時代めく仕樣模樣は揃家の得手もの寳に加茂川の流れと共にいつ〳〵迄も變らせなふ…希上げ奉るになん ホヽヽ… 京都染元のあるじ』

有効期間 大正七年六月中の御注文に限 開業一周年記念
京 染物 割引券 一枚に一反限り
染色紋付 金貳圓七拾錢 ◆三丈物一反の染代 京屋出張店

吳服京染 悉皆商 京 京屋吳服京染出張店
京都出張
あらいはり ゆのし しみぬき 御紋上繪 印物一切
新龍山三角地 郵信所前
▼ぬい紋ぬい模樣等は特に勉强仕り候▼



東京三金の靴



ボックス革製編上靴 一號金四圓五十錢 二號金五圓五十錢 三號金六圓五十錢 四號金七圓五十錢
ボックス革製短化靴 一號金四圓五十錢 二號金五圓五十錢 三號金六圓五十錢 四號金七圓五十錢
ボックス革製深ゴム 一號金五圓五十錢 二號金六圓五十錢 三號金七圓五十錢 四號金八圓五十錢

右の均一靴は精選せる材料に熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般實用紳士靴として好適品なり
御注文の節は靴の種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包送料實費にて御送附申上候
事見本寸法用紙付目錄 送呈
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝六九〇 振替東京一七一二〇

一、明知石外壹種 右購買ス詳細ハ六月四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府

一、石炭（切込）八拾萬斤 右購買ス詳細ハ六月四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府

▲新荷着▲
▲單羽折地（男物） 新柄 自金拾七圓八十錢 至金廿五圓
▲絽男羽折（縞無地） 新柄 一、金拾壹圓五十錢 二、金拾四圓五十錢 三、金拾八圓五十錢
▲絽セル男女物 柄御好み次第 金壹圓九十八錢 金貳圓八十八錢 金參圓八十五錢 金四圓八十五錢
○送料朝鮮內十二錢外三十錢
御注文の際は男女年齡の別柄向の御嗜好及び價格御申越し下され候はゞ必ず適當の柄見計ひ御送付可申上候
織元特約販賣 京城日報社代理部 京城太平町一丁目 電話長六〇〇 振替京城 三〇〇

花吹雪

大阪 中谷青霞

（五十二）

これはと驚く人々を尻目にかけて柳川香雨、突き立てた脇差を引きも廻さず、ホッと息を吐いて。
『こ、是れには深い仔細のあること……。』
と云ひ乍ら倒れんとする體軀を片手に支へた。
『叔父樣、とは又何故の御生害で御座りまする』
と唐土は取縋る。
『仔細とは何事、さゝ包まずお云やれ。』
と主税之助は膝押進める。
『されば……道子が日頃探し求むる父の敵はこの香雨……。』
『ゝそれは又何うした譯……。』
と驚く唐土。
『おゝ其驚きは尤、なれどもこれには仔細のあること、一通り聞いて呉れ、某もと宮城の家に兄と生れたれど、身持放埓のため家にも留まれず、勘當受けて處々方々と彷徨ひ、長脇差の群れに入り由なき事に日を送るうち、弟左門に跡目を繼がれ無念に思ふその餘り、左門さへ亡きものにせば後は某を尋ね出し呼び迎へて相續さする外はあるまじと、無賴の輩を語らひ登城の歸りを待伏せて闇討させたはこの香之助、天は遂に惡に與みせず、某が手に落つると思ひし跡目相續の御沙汰もなく宮城が家祿は沒收となり、一家離散の憂目に逢はせたも皆某が爲す業、思ふ胸算は全く外づれ土地にも身を潛きかねて、江戸に逃走の其後は魁組の頭となり多くの町奴どもを手先に使うて、役もない腕立三昧に日を送る似非男達、かくなり果つるも運の盡き、圖らず知つた亡き弟が遺兒、道子が手にかゝつて相果つるも萬分一の罪亡しと、慚愧の念に責められて有樣この仕儀、さゝ道子日頃の本懷遂げさす、寄つて止めを刺して呉れ。』
苦しき息を吐き乍ら、突立つた脇差をきりきりと引き廻す。
唐土は只呆れて言ふ詮すべも知らざる體、主税之助淨兵衞は眼を閉ぢて言葉もない。
『念なう巡り逢ふた父の敵、道子さゝ息の根止めて父左門が修羅の妄執晴らして呉れ、ね、氣後れしたか唐土……。』
と香雨は屹となつて氣息奄々。
『いゝ、氣後れも何も致しませぬなれどかくなる上は最早罪の亡びたお身、敵とは申せ紛ふ方なき叔父上、何と刄が當てられませう、最早少しも怨みは御座りませぬ、心靜に御生害なされて下さりませ。』
と唐土は淚を拂うて屹とした聲音
『いゝ、なれど尙心殘りは汝がこと、豫て望んだ叔父にも逢ひ念なう敵も亡びた今、誓ひもそれ迄、此上は主税之助殿かねて申交はしたとも聞く行末のこと、香雨臨終の願ひよしなに賴み申す、某には一人の姪、改後の曉は只不憫とより外の思ひは御座りませぬ。』
香雨ほろ／＼と淚を流す。
『おゝ、臨終の願ひ聞き屆け申した、唐土とは一蓮托生、盡未來際變らぬ夫婦で御座る、今は早恩も怨もなし心殘さず成佛おしやれ。』
主税之助は近う寄つて云ふ。
『憚り乍ら此淨兵衞も其儀は確かに引受け申した、香雨殿今は心おきない相親同士、安心のおしやれ。』
『忝う、御座る、さらば二人が中の媒介は。』と云はんとする折から。
『その媒介は身が致さう。』
と突然襖押明けて入り來つたは、當院の老僧かと思ひきや、建部兵衞が一念發起の僧形の服裝に、人々再びハッと驚いた。

日報歌壇

○筑紫野　佐々木柚子

たち別れ逆ほゆ日々みかぎろひの筑紫に住めど心は樂に

筑紫野にわれ住むなべに遊び難し八重の潮路に障はへたゝる

水錆ふ車山に日輪は明りたれども光はさし

湯の潦みたり荏れ逝き湯ふれにひたりす

○　早苗

わがうつゝなし

故郷を遠くはなれてこゝにまた鈴蘭の咲く國のありけり

○　淺鐘

夕日赤きかなたの海に帆の燃えて西ゆく船かけふも立ち見る

○　白菊

のゝなする

盛る草葉の窓に立ちよればわが胸はやもかこと塊かも

○　ていー

初夏の風に葉うらのきらく／＼さ白う光れりまことの

○　竹内綠子

黄白な胸にたゝめてつゝましき尼僧の姿見れば淚落つるも

○よし二様な姿りて

三草雨

友一人ゆきしばかりのわが家にかわりなけれど淋しかりけり

○　あづさ

もゆる映ゆる庭の若葉の葉がくれに雀啼くなひろさがりかも

久々に雨のあがりてさ庭なる桐の若葉の日に映ゆるも

日報俳壇

紫雲吟社詠草（新涯選）

春風

春風に貰吹かせる工夫かな　湖月

春風や潮一面のさゞれ波　逸明

春風に花が散り來る座敷哉　靜日

春風に小鳥唄へる庭木哉　青芽

春風に帆が千してある漁村かな　春蔭

茶を焚ける畑の烟や春の風　香仙

春雨

溫泉宿に皆き次ぐや春の雨　香仙

春雨に灯す停車場通り哉　湖月

春の雨晴れて輝く芽麥かな　竹風

上げ汐に浮べる鳩や春の雨　同

春雨の晴れゆく空に鴉かな　靜日

戸の外に牛追ふ聲や春の雨　七耳

春雨に市崩れ酔ふ酒舖哉　逸星

江を上ぼす數の小舟や春の雨　同

煉瓦築く高き足場や春の雨　香蔭

新聞も讀み盡しけり春の雨　不可人

停車場の灯影流るゝや春の雨　同

春雨の縁に眠れて土鳩かな　同

讀者の領分

◉マラソン足袋の發賣　運動會の模範たるマラソン王前愛知一中校長現代讀士日比野寛先生が廿箇年の久しきに亘り幾多の經驗の下に考案されたるマラソン足袋は東京神田永富町六日の丸社より發賣され其特徴は多大にして好評嘖々たり因に目下各縣に特賣店募集中也

▲先て私は某所を通じて某呉服店へ木綿物を注文すると大人の召すやうな地味なのはありませんとの返事であつた。では京城にはありますかと更に問合せて見ると是れ亦無いとの返事、私は此の如き消息の中に熟々衣服界の陥落を思はざるを得ない如何にせん今日さは云へさまで木綿物は陳腐した物でもあるまいと思ふ（滿生）▲一昨年頃京城水原線水原驛前の店に居られた小野田の住所を御存じの方は御知らせ下さい（西鮮の郊社庭生）▲警官のお方へ私は一昨夜小供を連れて本町通へ出ましたらあちらでもぶーこちらでもぶーとバイオリンで騒つて居まして小供が急に駆らうとしませんするさ後から車屋が私の足へ當つて衣服を破りましたブー／＼の取締を願ます（砂止生）▲私は一交換手ですがどうしたものか、交換手といへば一般社會の人はけなしますがそれは學問のない人のいふ事で私たちが道を通つておてもあゝ交換手がといひますが交換手がなにが惡いのですか。私はそんな事ない人だと思ひます交換手こそわけのわからない人だと思ひます。そんな職業は最も必要なものです（交換手）▲立中等學校の教員は國民の師たる人格ありながら一寸生徒が廊下にて角力を取れば罰するさはあまり殘酷では無いか（憤慨生）▲一寸お尋ね致しますが日報販賣や日報代に於ける何か入るのですか（お尋ね生）▲一文も要りませんドシ／＼（記者）

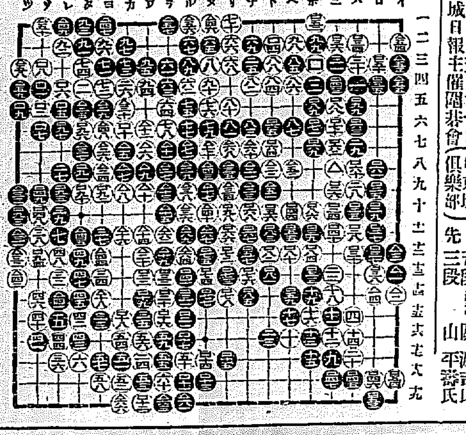
碁戰（完）

大正七年五月二十日於京城日報主催園棊會（倶樂部）

先　五段　桐亭　關源吉氏
　　三段　山平壽氏

●二六一　ルの六
○二六二　チの十一
●二六三　チの九
○二六四　ルの十三
●二六五　劫トル
○二六六　ワの六
●二六七　カの九
○二六八　ヌの十
●二六九　リの七
○二七〇　ルの十
●二七一　ヌの七
○二七二　ルの七
●二七三　チの十三　劫ツグ
○二七四　二の十五　劫ツグ

白一目勝



仁川期米

四日の八月限

仁川米豆取引所

小賣値段六十四錢三錢六十五錢四

◉米穀收穫豫想

…に非ず今最近に於ける本年度の米穀作柄豫想を前年度と比較すれば右は今日迄發表せられたるものにしてアッピールの入七、二は餘…從來の歷史上豫想額の甚だしく多僅に達したるが一九一五―一六の…き時に收穫の悲觀しく減少する傾向年度は千二百八九十萬俵を下り…遂せんかと樂觀し居れど今後の天候其他の事情によつて如何なる…と說く者多し（東京）

りん病七日藥

淋病痳除はいやでも治る奇藥也
●慢性淋病 ●急性淋病 ●膀胱加答兒 ●婦人子宮病 ●尿道狹窄
七日分只一圓 服用せよ説明書進呈
大阪堺筋八幡筋北 山口藥院

李王職御用 模範 牛乳
ニウソ 石鹸 洗粉
太正堂 肥塚
京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話

醇良無双 清酒
衛生無害 品質無双
發賣元
京城府黄金町二丁目 首藤京城支店 長電話一一七一番
釜山港幸町 首藤釜山支店 長電話二四三番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城 朝鮮銀行
振替貯金口座京城三三三 電話六〇一〇番
支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、青島、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓
出張所 傅家甸、龍井村、鄭家屯、上海
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

大日本郵船出帆（仁川出帆）
大連行天津行 相模丸 六月十九日 正午
三河丸 七月九日
高砂丸 六月廿九日
仁川海岸町十一丁目 堀回漕部 電話

尼崎汽船出帆（仁川出帆）
下關大阪行
第一太湖丸 六月二日 後四時
君が代丸 六月十一日 後四時
大有丸 六月六日 後四時
山下丸 釜山木浦下關神戸大阪行 六月 日 後四時
秀吉丸
仁川海岸通 高杉回漕店

共同汽船（仁川出帆）
大連直行 共同丸 六月三日後入港 六月四日後出帆
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店 山口商會
元山代理店 田口回漕店
京城南大門 河村運送店

朝鮮郵船出帆
○敦賀行 清津發城津元山經由 平壤丸 六月八日 清津發
○浦汐行 平山陽 六月十七日 釜山發 六月廿一日 元山發
○雄基行 ×京畿丸 六月十四日 釜山發 六月十七日 元山發
咸鏡丸 六月九日 釜山發 六月十三日 元山發
○元山雄基線 隔日 鏡城丸 六月十一日 元山發
○大阪行 平安丸 六月十四日 元山發 六月十六日 釜山發
○關門行 ×隱耶山 六月十八日 元山發 六月十一日 釜山發
忠清丸 六月十五日 釜山發
○金剛山遊覽便 鏡城丸 六月九日 元山發
○欝陵島行 鎭德丸 六月十二日 釜山發
○釜山浦項線 江陵丸・金陵丸 毎日 釜山浦港發
○濟州島行 昌平丸 六月十日 釜山發
○濟州島行 木浦發 東廻慶興丸 六月六日 西廻公州丸 六月九日 木浦發
○釜山麗水線 濟州丸、巨濟丸、統營丸、毎日 釜山麗水發
○木浦麗水線 金海丸 六月七日 木浦發
○多島海行 公州丸 六月十四日 木浦發
○木浦行 全州丸 六月八日 仁川發
○海州行 錦江丸成歡丸毎日一回仁川海州發
○鎭南浦行 晉州丸 六月八日 仁川發
○濟島行 江原丸 六月八日 仁川發
○鎭南浦大連直行線 宗信丸 月日 鎭南浦發
朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡運送ノ便アリ
本社 京城南大門通（電話一九五・一二三）
釜山港佐藤町 釜山支店
元山港海岸通 元山出張所
仁川港代理店 堀回漕部
木浦港代理店 山野回漕部
京城荷客取扱店 松原運送店 京城南大門驛前
（其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ）